

Project and Portfolio Management Center

ソフトウェアバージョン: 10.0

はじめにヘルプ

ヘルプセンターオンラインに移動します
<http://admhelp.microfocus.com/ppm/>

ご注意

免責事項

ここからアクセス可能なソフトウェアまたはドキュメント(以下「本資料」)の一部には、**Hewlett-Packard Company** (現在の**HP Inc.**) および**Hewlett Packard Enterprise Company**のブランドが含まれる場合があります。2017年9月1日以降、本資料は所有と経営を別とする企業**Micro Focus**によって提供されています。HPおよび**Hewlett Packard Enterprise/HPE**マークの使用は歴史的なものであり、HPおよび**Hewlett Packard Enterprise/HPE**マークはそれぞれの所有者に帰属します。

保証

Micro Focusおよびその関連会社およびライセンサ(「**Micro Focus**」)の製品およびサービスの保証は、当該製品およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、**Micro Focus**はいかなる責任も負いません。ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。明確な指示がある場合を除き、これらを所有、使用、または複製するには、有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、**FAR12.211**および**12.212**の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

©Copyright 1997-2021 **Micro Focus**またはその関連会社の1つ。

目次

Project and Portfolio Management Center	1
PPMの導入	7
なぜPPMを使用するのですか?	7
PPMプロセスの概要	7
PPMを初めてお使いですか?	8
ヘルプセンターのブックマーク	8
PPM 10.0の新機能.....	8
ポートフォリオ財務.....	8
セルフサービスポートレットの拡張機能.....	9
管理の機能拡張.....	9
コンカレントライセンスの機能強化	10
デマンド管理の機能拡張	10
新規特殊コマンド	11
PostgreSQLデータベースのサポート (ベータ版).....	11
統合の更新	11
プロジェクト管理の機能拡張	11
kMigratorの改善	12
廃止	12
PPMの新機能 - 以前のバージョン.....	13
PPM 9.66の新機能	13
新機能ビデオ.....	13
ダッシュボードの機能拡張	13
チーム管理の機能拡張	14
デマンド管理の機能拡張.....	15
プロジェクト管理の機能拡張	16
プログラム管理の機能拡張.....	16
マイタイムシートアプリの更新.....	16
リソース管理の機能拡張.....	16
統合の更新	16
拡張機能の更新	17
財務管理の機能拡張.....	17
ライセンスアサインの変更に関する監査証跡	17
認証のためにJWTをサポートします	17
PPM 9.65の新機能	17
新機能ビデオ	17
チーム管理の機能拡張	17
ダッシュボードの機能拡張	18
マイタイムシートアプリの機能強化	18
デマンド管理の機能拡張.....	19

ガントチャートの機能拡張	20
プラットフォームの機能拡張	20
プログラム管理の機能拡張	20
時間管理の機能拡張	20
ドキュメントの機能拡張	21
PPM 9.64の新機能	21
マイタイムシートアプリ	21
チーム管理の機能拡張	21
デマンド管理の機能拡張	21
プロジェクト管理の機能拡張	22
リソース管理の機能拡張	22
kMigratorの改善	23
ヘルプセンター共有ボタン	23
PPM 9.63の新機能	23
デマンド管理の機能拡張	23
ポートフォリオタイプ	27
プラットフォームの機能拡張	27
PPM-JIRA統合の更新	28
ダッシュボードの機能拡張	28
リソース管理の機能拡張	29
時間管理の機能拡張	29
チーム管理の機能拡張	30
財務管理の機能拡張	30
Kubernetesサポート (ベータ版)	30
PPM 9.62の新機能	30
ポートフォリオ管理の機能拡張	30
チャットボットの機能拡張	31
チーム管理の機能拡張	32
機能拡張のインストール	32
ダッシュボードの機能拡張	32
管理の機能拡張	33
プログラム管理の機能拡張	34
プロジェクト管理の機能拡張	35
リソース管理の機能拡張	35
時間管理の機能拡張	35
デマンド管理の機能拡張	36
財務管理の機能拡張	36
廃止	36
PPM 9.61の新機能	37
ポートフォリオ管理の機能拡張	37
プロジェクト管理の機能拡張	38
デプロイメントの改善	39
リソース管理の機能拡張	39
ダッシュボードの機能拡張	40

時間管理の機能拡張	40
PPMチャットボットの機能拡張	40
ヘルプセンター	40
廃止	41
PPM 9.60の新機能	41
PPM Enterprise Suiteコンカレントライセンス	41
PPM for Mobileモバイルの更新	41
ポートフォリオ管理の機能拡張	42
Micro Focus PPM Connector	42
PPMチャットボット	42
ダッシュボードの機能拡張	43
機能の切り替えの機能拡張	43
管理の機能拡張	43
時間管理の機能拡張	44
プロジェクト管理の機能拡張	44
リソース管理の機能拡張	44
プログラム管理の機能拡張	45
廃止	45
PPM 9.55の新機能	45
PPM for Mobileの更新	45
財務管理の機能拡張	47
プロジェクト管理の機能拡張	48
ダッシュボード	50
デマンド管理	50
プログラム管理の機能強化	51
ポートフォリオ管理の機能拡張	51
機能の切り替えの機能拡張	51
廃止	52
PPM 9.54の新機能	52
チーム管理の更新	52
PPMモバイルの新しいUI	53
プラットフォームの機能拡張	53
エンタープライズアジャイルアップデート	54
機能の切り替えの機能拡張	54
ポートフォリオ管理の機能拡張	54
What-if分析の機能拡張	54
ダッシュボードの機能拡張	54
デマンド管理の機能拡張	55
プログラム管理の機能拡張	56
リソース管理の機能拡張	56
時間管理の機能拡張	56
財務管理の機能拡張	57
ヘルプセンターの改善	57
プロジェクト参加者とのチャットを開始	57

PPM 9.53の新機能	58
チーム管理の更新	58
機能管理	58
スタッフィングプロファイルからの予測人件費を表示	59
エンタープライズアジャイルアップデート	59
ダッシュボードの機能拡張	59
デマンド管理の機能拡張	60
ドキュメント管理の機能拡張	60
財務管理の機能拡張	60
ポートフォリオ管理の機能拡張	61
プロジェクト管理の機能拡張	62
PPM 9.52の新機能	63
チーム管理	63
プロジェクト管理の機能拡張	65
リソース管理の拡張機能	67
プラットフォームの機能拡張	69
AWSサポート	69
統合の強化	70
What-if分析の機能拡張	70
デマンド管理の機能拡張	70
財務管理の機能拡張	71
ダッシュボードの機能拡張	71
APMの機能拡張	71
MLU	73
PPM 9.51の新機能	73
ポートレットの機能拡張	73
OpenJDK for Workbenchをサポートする	73
OIDC SSO	74
PPM 9.50の新機能	76
What-if分析	76
エンタープライズアジャイルアップデート	76
ポートフォリオ管理の機能拡張	79
PPMレポートの機能拡張	81
REST APIの改善	81
ヘルプセンターの機能拡張	81
プラットフォーム認定	82
PPMモジュール	83
PPMサポートマトリックス	85
PPM統合	85
その他のヘルプ	87
フィードバックを送る	89

PPMの導入

Project and Portfolio Management Center (PPM) は、組織がビジネスのデマンドとアイデアを追跡し、戦略的優先順位に沿ったプロジェクトの適切なポートフォリオに投資するためのより良い決定を下し、プロジェクトを集合的に管理して、プロジェクトが予定どおりに予算内で提供されるようにするのに役立ちます。

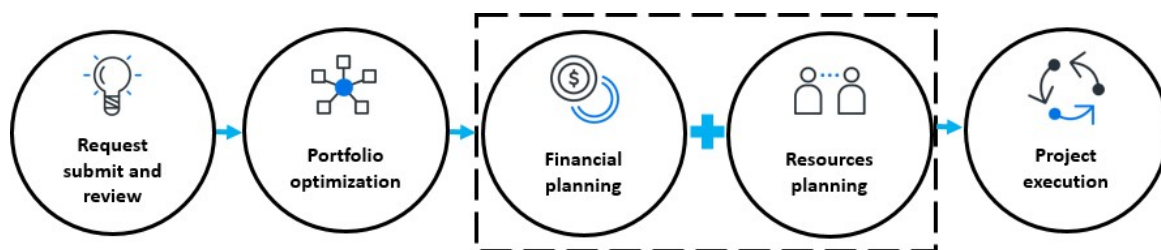
なぜPPMを使用するのですか？

PPMは、さまざまなロールの課題に対処するのに役立ちます。

ロール	課題
CIO ポートフォリオマネージャー	<ul style="list-style-type: none"> 顧客の価値観に従ってビジネス目標を定義します。 ビジネス目標を実行するために何を投資するかを決定します。 ポートフォリオのステータスを評価して伝達します。
プログラムマネージャー PMO	<ul style="list-style-type: none"> グループ化されたプロジェクトのパフォーマンスを管理します。 プロジェクト間で一貫したプロセスを確保します。
プロジェクトマネージャー	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを計画、実行、および完了します。 問題、リスク、および変更に対処します。
リソースマネージャー	<ul style="list-style-type: none"> リソースのキャパシティと容量を管理します。 プロジェクトのリソース計画を行います。 プロジェクトにリソースをアサインします。
財務マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトに予算を割り当てます。 プロジェクトの予測と実際のコストを追跡します。
システム管理者	<ul style="list-style-type: none"> 組織のポリシーに合わせてシステムをカスタマイズおよび構成します。 システムユーザーを管理します。
チームメンバー	<ul style="list-style-type: none"> リクエストを送信します。 アサインされたタスクの時間を報告します。

PPMプロセスの概要

このフローは、計画から実行までのPPM全体のプロセスを示しています。



PPMを初めてお使いですか？

PPMでのアクションは、PPM WebページまたはPPM Workbenchのいずれかで実行されます。はじめにガイドでは、PPM WebページとPPM Workbenchのコンポーネントを紹介し、いくつかの基本的なアクションについて説明します。

印刷用ドキュメントは、Adobeのポータブルドキュメント形式 (PDF) で入手できます。ドキュメントを表示するには、[はじめに](#)をクリックします。

ヘルプセンターのブックマーク

ヘルプセンターの最新バージョンを常に表示するには、次のリンクをブックマークしてください：<https://admhelp.microfocus.com/ppm>。

トピックの最新バージョンを常に指すリンクを作成するには、URLのバージョン番号を「latest」に置き換えます。例えば：

- 前のバージョン：
https://admhelp.microfocus.com/ppm/en/9.50-9.52/Help/Content/Intro_PPM.htm
- Current version
https://admhelp.microfocus.com/ppm/en/latest/Help/Content/Intro_PPM.htm

 参照：

- [PPMモジュール](#)
- [PPM統合](#)

PPM 10.0の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 10.0で導入されました。

ポートフォリオ財務

財務タブがポートフォリオで利用できるようになりました。このタブを使用して、ポートフォリオのコストとメリットを追跡および管理できます。

詳細については、[ポートフォリオ財務](#)を参照してください。

セルフサービスポートレットの拡張機能

次の拡張機能がセルフサービスポートレットに追加されました。

お気に入りのビュー	これで、セルフサービスポートレットのお気に入りのビューを作成できます。これにより、単一のポートレットを使用して、さまざまな観点から同じデータを分析し、それらを異なる形式で表示できます。 詳細については、 セルフサービスポートレットのお気に入りのビューの管理 を参照してください。
ドリルダウン先ビュー	セルフサービスポートレットのお気に入りビューのドリルダウン先ビューを定義できるようになりました。これにより、より詳細にドリルダウンできます。 詳細については、 お気に入りビューのドリルダウン先ビューを定義する を参照してください。
新しい表示タイプ	2つの新しい表示タイプ: サンキーダイアグラム と ゲージダイアグラム がセルフサービスのポートレットに追加され、データレポートの柔軟性が向上しました。 詳細については、 セルフサービスポートレットの表示オプションを設定する を参照してください。

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

管理コンソールでのより包括的なライセンスの使用	管理コンソールは、PPMモジュールベースのライセンスの消費状況、PPMモジュール間で購入したライセンスの配布など、より包括的なライセンス使用情報を提供できるようになりました。 詳細については、 ライセンスの使用状況を管理コンソールから表示する を参照してください。
--------------------------------	---

APIキー認証	<p>APIキーを使用して、PPMにアクセスする外部アプリケーションに安全な認証メカニズムを提供できるようになりました。</p> <p>詳細については、APIキーアクセスの設定を参照してください。</p>
カスタムWARファイルをデプロイする	<p>これで、カスタムWARファイルをPPMサーバーにデプロイできます。</p> <p>詳細については、PPMサーバーにWARファイルをデプロイするを参照してください。</p>
REST APIを使用してユーザー情報を取得する	<p>これで、REST APIを使用して、地域設定やセキュリティグループなど、現在ログインしているユーザーに関するさまざまな情報を取得できます。</p> <p>詳細については、インタラクティブREST APIヘルプを参照してください。</p>

コンカレントライセンスの機能強化

コンカレントライセンスに次の機能拡張が追加されました。

非アクティブな同時セッションを強制終了する	<p>コンカレントライセンスが不足している場合は、非アクティブなセッションを強制的に閉じてコンカレントライセンスを解放できます。</p> <p>詳細については、同時終了を強制的に終了するセッションを参照してください。</p>
コンカレントライセンス使用の通知	<p>PPMは、ライセンスの同時使用に関する通知を送信できるようになりました。PPMが通知を送信するタイミングと送信先を設定できます。</p> <p>詳細については、コンカレントライセンスの使用通知の設定を参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>リクエストタイプのコマンドをトリガーする新しいルール</p>	<p>関連するリクエストでコマンドを実行すると、リクエストタイプのコマンドをトリガーできるようになりました。</p> <p>詳細については、リクエストタイプコマンドのイベントルールを有効にするを参照してください。</p>
<p>すべてのフィールドが非表示になっているときにセクションを非表示にする</p>	<p>UIルールによってすべてのフィールドが非表示になったときに、セクションを非表示にできるようになりました。</p> <p>詳細については、基本的なリクエストの編集を実行するを参照してください。</p>

新規特殊コマンド

PPMは新規特殊コマンドを導入しました:[ksc_run_command_in_other_requests](#)

リクエストの変更が関連するリクエストに影響を与える場合は、リクエストでこのコマンドを実行して、関連するリクエストの任意のコマンドの実行をトリガーできます。これは、単一のコマンドを実行することにより、関連するすべての要求に変更を適用するのに役立ちます。

詳細については、[ksc_run_command_in_other_requests](#)を参照してください。

PostgreSQLデータベースのサポート (ベータ版)

これで、PostgreSQLデータベースを使用してPPMを実行できます。

注記: これはベータ機能です。

詳細については、[PostgreSQLを使用したPPMのインストール](#)を参照してください。

統合の更新

NotionまたはSmartsheetで管理されているタスクをPPM作業計画にインポートできるようになりました。

注記: これらはベータ機能です。

詳細については、[NotionからPPM作業計画 \(ベータ\) へのタスクのインポート](#)および[SmartsheetからPPM作業計画 \(ベータ\) へのタスクのインポート](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日までであることを確認します</p>	<p>タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日を超えて延長されるのを禁止するフィーチャートグルをオンにすることで、タスクのスケジュールされた終了日がプロジェクトの終了日より遅くないことを確認できるようになりました。</p> <p>詳細については、タスクの追加を参照してください。</p>
<p>作業計画の改善</p>	<p>次の機能拡張が作業計画に追加され、より優れたユーザーエクスペリエンスが提供されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業計画のクイックビューでタスク名を編集するときに、編集ボックスが拡大され、タスク名全体が表示されるようになりました。 作業計画のベースラインの詳細を表示するときに、[Microsoft Project 内で作業計画を開く] ボタンが無効になりました。 作業計画のスケジュールされた作業の編集クイックビューは、他のビューと同じになりました。 <p>詳細については、タスクの詳細の編集を参照してください。</p>

kMigratorの改善

kMigratorExtract.shおよび**kMigratorImport.sh**スクリプトを使用してセルフサービスポートレットデータソースを移行できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

廃止

従来のPPMモバイルWebクライアントは、このリリースから非推奨になりました。10.0より前のレガシーPPMモバイルWebクライアントを使用する場合、アップグレード後は、**PPM for Mobile**を使用する必要があります。

詳細については、[PPM for Mobile](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMの新機能 - 以前のバージョン](#)
- [PPMのReadme](#)

PPMの新機能 - 以前のバージョン

このセクションでは、以前のバージョンのPPMで導入または拡張された機能の概要を説明します。

- [PPM 9.66の新機能](#)
- [PPM 9.65の新機能](#)
- [PPM 9.64の新機能](#)
- [PPM 9.63の新機能](#)
- [PPM 9.62の新機能](#)
- [PPM 9.61の新機能](#)
- [PPM 9.60の新機能](#)
- [PPM 9.55の新機能](#)
- [PPM 9.54の新機能](#)
- [PPM 9.53の新機能](#)
- [PPM 9.52の新機能](#)
- [PPM 9.51の新機能](#)
- [PPM 9.50の新機能](#)

PPM 9.66の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 9.66で導入されました。

新機能ビデオ

PPM 9.66に含まれるいくつかの新機能と拡張機能について説明します。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

<p>セルフサービスポートレットデータソースを作成する</p>	<p>PPM-suppliedするセルフサービスポートレットデータソースの使用に加えて、PPM管理者はダッシュボードデータソースからセルフサービスポートレットデータソースを作成できるようになりました。</p> <p>詳細については、セルフサービスポートレットデータソースを参照してください。</p>
<p>セルフサービスポートレットデータソースのODataリンク (ベータ)</p>	<p>セルフサービスポートレットデータソースのODataリンクを作成できます。これにより、エクスポートを繰り返すことなく、PPMデータをMicrosoft ExcelまたはPower BIに常に同期できます。</p> <p>詳細については、セルフサービスポートレットデータソースのODataリンク操作を参照してください。</p>
<p>財務コストデータソースの更新</p>	<p>財務コストデータソースが拡張され、セルフサービスのポートレットに次のデータを表示できるようになりました:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 資産と提案の財務コスト。 • ポートフォリオとプログラムの内容の財務コスト。 • プロジェクト期間の全範囲におけるプロジェクトの財務コスト。 • コストラインのユーザーデータ。 <p>詳細については、財務コストデータソースを参照してください。</p>
<p>セルフサービスのポートレットを追加して、ダッシュボードと [チームの概要] タブをリクエストする</p>	<p>これで、セルフサービスのポートレットを次の場所に追加できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ダッシュボードをリクエスト • [チームの概要] タブ <p>詳細については、セルフサービスポートレットの設定を参照してください。</p>
<p>HTML +ポートレットを境界なしで表示する</p>	<p>HTML +ポートレットを境界なしで表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、標準ポートレット定義の作成を参照してください。</p>
<p>ドリルダウン先ポートレットの更新</p>	<p>次のオプションは、ドリルダウン先のポートレットでもサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 最大化されたビュー • 表示列の選択 <p>詳細については、ポートレットのドリルダウンページを定義するを参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

メンバータブの更新	<p>メンバー タブから、次のことができるようになりました:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 名前のないリソースを追加または削除する。 • サブチームを削除するか、別のチームに転送する。 • チームリソースとサブチームのキャパシティを表示する。 • 組織図ビューでチームを表示する。 <p>詳細については、チームキャパシティの管理およびチームメンバーの表示を参照してください。</p>
デマンドタブの更新	<p>デマンド タブからリソースをポジションにアサインする場合、次のことができるようになります:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択したリソースをコミットする。 • ポジションのデマンドを選択したリソースに均等に配分する。 <p>詳細については、リソースのリソースへのアサインリクエストまたは約束されたアサインを参照してください。</p>
ヒートマップタブの更新	<ul style="list-style-type: none"> • データは、より意味のある情報を提供するために最適化。 • データは時間および人日単位でも表示可能。 <p>詳細については、チームヒートマップを参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

リクエストを保存するときにコマンドを実行する (ベータ版)	<p>リクエストを保存するときに、リクエストタイプのコマンドを実行することもできます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプコマンドのイベントルールを有効にするを参照してください。</p>
参照されているプロジェクトまたはプログラムの名前の変更は、リクエストに反映される	<p>リクエストがプロジェクトまたはプログラムを参照している場合、参照されているプロジェクトまたはプログラムの名前が変更されると、新しい名前がリクエストに反映されます。</p> <p>詳細については、リクエストヘッダータイプのフィールドグループを参照してください。</p>

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>カスタム計算によるプロジェクトの進捗状況の定義</p>	<p>カスタムメソッドによって計算されたプロジェクトの進行状況を示すプロジェクトフィールドを定義します。PPMは、フィールド値に基づいてプロジェクトの進捗状況を表示します。</p> <p>詳細については、スケジュールポリシーを参照してください。</p>
<p>タスクの実績を使用してリソース負荷を計算する</p>	<p>PPMでは、作業計画タスクの実績を使用してリソース負荷を計算できるようになりました。</p> <p>詳細については、リソース負荷設定を参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

プログラムダッシュボードセクションが [プログラムの概要] ページに追加されました。このセクションにポートレットを追加して、プログラムのリアルタイム情報を表示できます。

詳細については、[プログラムの概要のレイアウトポリシー](#)を参照してください。

マイタイムシートアプリの更新

マイタイムシートアプリを使用して、タイムシートラインのアクティビティ、料金コード、およびユーザーデータを追加できるようになりました。

詳細については、[アクティビティ、料金コード、ユーザーデータの追加](#)をご覧ください。

リソース管理の機能拡張

PPMは、リソースの地域カレンダーに基づいてFTEユニットのリソース工数を計算できるようになりました。

可用性: これはベータ機能です。これは、リソース割り当て管理ページのガントビューおよびスタッフリングプロファイルの新しいUIで使用できます。

詳細については、[地域カレンダーを使用してFTEユニットの労力を計算する](#)を参照してください。

統合の更新

PPMは、PPMタスクとALM Octaneプロジェクトを統合するためのSSO認証をサポートしていません。

詳細については、[PPMタスクとALM Octaneプロジェクトのリンク](#)を参照してください。

拡張機能の更新

Oracle E-Business Suite 12.2.3以降のバージョンでファイルを移行するときに、ファイルシステムの実行とパッチを自動的に取得できるようになりました。

詳細については、[PPM機能拡張と移行機能](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

これで、REST APIを使用して、コスト係数、コストルール、および為替レートを管理できます。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

ライセンスアサインの変更に関する監査証跡

ライセンスアサインの変更は、ITG_AUDIT_EVENTSテーブルに記録されるようになりました。

詳細については、[ユーザーへのライセンスのアサイン](#)を参照してください。

認証のためにJWTをサポートします

PPMは、RESTful WebサービスのJSON Web Token (JWT) 認証をサポートするようになりました。

詳細については、[PPM RESTful Webサービスの概要](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.65の新機能

次の新機能と拡張機能がPPM 9.65で導入されました。

新機能ビデオ

PPM 9.65に含まれるいくつかの新機能と拡張機能について説明します。

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

高度なアサイン	<p>高度なアサインを使用して、スキルとロールがリソースリクエストに最も適しているリソースを見つけてアサインできます。その間、リソースの残存キャパシティをチェックして、誰も過負荷になっていないことを確認できます。</p> <p>詳細については、高度なアサインを参照してください。</p>
[稼働率] タブ	<p>稼働率タブがチームの詳細ページで利用できるようになりました。チームメンバーのアサインを表示し、ワークロードのバランスを取るために適切なアクションを実行できます。</p> <p>詳細については、チームの稼働率を表示および編集するを参照してください。</p>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

セルフサービスポートレットの新しいビュータイプ: グリッドビュー	<p>新しい表示タイプ: グリッドビューがセルフサービスポートレットに追加され、データを多次元の表形式で表示できるようになりました。</p> <p>詳細については、表示オプションの設定 - セルフサービスポートレットを参照してください。</p>
セルフサービスポートレットの新しいデータソース: 財務コスト	<p>新しいデータソース: 財務コストがセルフサービスポートレットに追加され、プロジェクト、プログラム、およびポートフォリオの財務コストが表示されます。</p> <p>詳細については、財務コストデータソースを参照してください。</p>
より多くのページにセルフサービスポートレットを追加する	<p>[ポートフォリオタイプの設定] ページと [ポートフォリオの概要] タブに加えて、次のページにセルフサービスポートレットを追加できるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトタイプの設定ページ • [プロジェクトの概要] ページ • PPMダッシュボードページ
HTML+ポートレットの表示モードを切り替えるオプションを非表示にする	<p>HTML+ポートレットの表示モードを切り替えるオプションを非表示にするフィードバックがオンになっている場合、表示モードを切り替えるオプションはHTML+ポートレットで非表示になります。</p> <p>詳細については、表示オプションの設定 - HTML+ポートレットを参照してください。</p>

マイタイムシートアプリの機能強化

PPM for Mobileのマイタイムシートアプリを使用して、タイムシートの行を作り直すことができます。

詳細については、[タイムシートのリワーク](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>新規検証コンポーネントタイプ: チェックボックス</p>	<p>新規コンポーネントタイプ: チェックボックスが検証に追加されました。このコンポーネントタイプのフィールドは、[リクエストの詳細] ページにのみ追加できます。</p> <p>詳細については、検証の使用を参照してください。</p>
<p>[参照] セクションでのクイック検索</p>	<p>リクエスト、プロジェクト、プログラム、パッケージ、およびタスクの [参照] セクションで参照を簡単に見つけることができるようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 添付ファイルを参照として追加するときに、添付ファイルのキーワードを定義できます。キーワードは、複数の添付ファイルを区別し、添付ファイルをよりすばやく見つけやすくするのに役立ちます。 検索ボックスが各参照サブセクションに追加されました。ターゲットサブセクションに含まれるテキスト文字列で参照を検索できます。 <p>詳細については、添付ファイルの追加リクエストへの参照および検索とダウンロードリファレンスを参照してください。</p>
<p>リクエストの添付ファイルをZIPファイルとしてダウンロードする</p>	<p>これで、リクエストのすべての添付ファイルをZIPファイルとしてダウンロードできます。</p> <p>詳細については、参照の検索とダウンロードリファレンスを参照してください。</p>
<p>setFieldEditable()UIルールがテーブルコンポーネントでも機能</p>	<p>フィールドを編集可能または編集不可能にするUIルール: setFieldEditable()は、テーブルコンポーネントでも機能するようになりました。</p>
<p>リクエストタイプルールの新しい依存条件: はnullではありません</p>	<p>新しい依存関係条件:はnullではありませんがリクエストタイプルールに追加されました。</p> <p>詳細については、高度なリクエストタイプルールの作成を参照してください。</p>

ガントチャートの機能拡張

PPMでは、ガントチャートの一部を刷新しました。新しいモダンな外観と改善されたユーザーエクスペリエンスを提供します。

詳細については、[ガントチャート](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

<p>カスタムHTTPヘッダーからクライアントIPを読み取り</p>	<p>サーバーパラメーターREMOTE_IP_HTTP_HEADERを使用して、PPMがクライアントIPを読み取るカスタムHTTPヘッダーを設定できます。</p> <p>これにより、Webサーバーまたはロードバランサーが使用されているときに、WebサーバーまたはロードバランサーのIPではなく、実際のクライアントIPがキャプチャされます。</p> <p>詳細については、KNTA_LOGON_ATTEMPTSおよびサーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>リクエストダッシュボードとプロジェクトの概要のレイアウトの移行をサポート</p>	<p>これで、kMigratorExtract.shおよびkMigratorImport.shスクリプトを移行に使用できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> リクエストタイプのダッシュボード設定 プロジェクトタイプの概要レイアウト設定 <p>詳細については、kMigratorExtract.shおよびkMigratorImport.shを参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

これで、既存のプログラムタイプをコピーしてプログラムタイプを作成できます。

詳細については、[プログラムタイプの作成と設定](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

タイムシートの手数料コードを非表示にすることができるようになりました。**タイムシートの手数料コードを非表示にする**場合、機能の切り替えがオンになり、手数料コードがタイムシートに表示されなくなります。

- [手数料コード] セクションが [明細の詳細] ページから削除されました。
- [手数料コードを含める] オプションは、[タイムシートの作成] ページと [タイムシートのコピー] ページから削除されました。

詳細については、[時間のレポート](#)を参照してください。

ドキュメントの機能拡張

PPMで頻繁に使用されるシステム特殊コマンドのいくつかを文書化しました。

詳細については、[特殊コマンドの使用](#)を参照してください。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.64の新機能

このセクションでは、PPM 9.64で導入または拡張された機能の概要を説明します。

マイタイムシートアプリ

マイタイムシートアプリがPPM for Mobileで利用できるようになりました。このアプリを使用して、タイムシートを作成、更新、送信できます。

詳細については、[タイムシートの作成と送信](#)を参照してください。

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

<p>チームのデマンド</p>	<p>デマンドタブがチームの詳細ページで利用できるようになりました。これにより、中央の場所からチームのデマンドと割り当てにアクセスして管理できます。</p> <p>詳細については、チームのデマンドを表示を参照してください。</p>
<p>チームタブの新しい名前</p>	<p>チームの詳細ページで次のタブの名前を変更しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • メンバーとしてのチームリスト • ロードマップとしてのチームガント • ヒートマップとしてのチームヒートマップ

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>オートコンプリートフィールドのツールチップを有効にする</p>	<p>PPM管理者は、ツールチップを表示するオートコンプリートフィールドを構成できます。ツールチップから、ユーザーは次のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フィールドにリストされているエンティティの情報を表示する • エンティティの詳細ページに移動する • ユーザータイプフィールドの場合は、リストされているユーザーにチャットまたはメールを送信する <p>詳細については、オートコンプリートフィールドのツールチップの有効化を参照してください。</p>
<p>一括更新とクイック編集の進行状況を表示する</p>	<p>一連のリクエストに対して一括更新またはクイック編集を実行すると、更新の進行状況が表示されます。</p>

プロジェクト管理の機能拡張

次の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

カスタム計算によるプロジェクトヘルスの定義

カスタムメソッドによって計算されたプロジェクトヘルスを示すプロジェクトフィールドを選択すると、PPMはフィールド値に基づいてプロジェクトヘルスを表示します。

詳細については、[プロジェクトヘルスポリシー](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

<p>スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期する</p>	<p>プロジェクトの日付が変更されると、関連スタッフィングプロファイルの日付がプロジェクトの新しい日付で自動的に更新されます。</p> <p>この機能は、[スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期する] 機能の切り替えがオンになっている場合にのみ有効になります。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルの日付をプロジェクトの日付と同期するを参照してください。</p>
--	---

<p>アサインの負荷の分析ポートレットの機能拡張</p>	<p>次のオプションがアサインの負荷の分析ポートレットに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 選択した作業項目に対するアサインのみをポートレットに含めます • プログラム、パッケージ、その他の実際の作業もポートレットに含めることができます <p>詳細については、アサインの視覚化を参照してください。</p>
------------------------------	--

kMigratorの改善


次の機能拡張がプラットフォームモジュールに追加されました。

データソースフィルター列の高度なデフォルト値の移行をサポートする

kMigratorExtract.shおよびkMigratorImport.shスクリプトを使用して、データソースのフィルター列の高度なデフォルト値を移行できるようになりました。

詳細については、[kMigratorExtract.sh](#)および[kMigratorImport.sh](#)を参照してください。

ヘルプセンター共有ボタン

ヘルプセンターのツールバーに、新しい共有ページボタン  が含まれるようになりました。

- Facebook、Twitter、LinkedIn、または電子メールでヘルプトピックを共有できます。
- トピックリンクをクリップボードにコピーして、他のアプリケーションに貼り付けることもできます。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.63の新機能

このセクションでは、PPM 9.63で導入または拡張された機能の概要を説明します。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>[リクエスト詳細] ページの新しいセクション: ダッシュボード</p>	<p>ダッシュボードセクションが [リクエスト詳細] ページに追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> PPM管理者は、以下のPPMメニューからリクエストタイプのダッシュボードを設定できます。開く>管理>リクエストタイプの管理 <p>詳細については、リクエストタイプのダッシュボードの設定を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 設定すると、[ダッシュボード] セクションが [リクエスト詳細] ページに表示され、リクエスト情報をまとめて表示できるようになります。 <p>詳細については、[リクエスト詳細] ページ、[ダッシュボード] セクションを参照してください。</p>
<p>リクエストタイプルールのコピー</p>	<p>同じリクエストタイプまたは他のリクエストタイプからリクエストタイプルールをコピーできます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプルールのコピーを参照してください。</p>
<p>リクエストリレーションシップの設定</p>	<p>リクエストタイプに相互フィールドを作成することで、2つのリクエスト間のリレーションシップを設定できます。</p> <p>詳細については、リクエストリレーションシップの設定 (ベータ版)を参照してください。</p>
<p>テーブルコンポーネントにグリッドビューが追加された</p>	<p>テーブルコンポーネントにグリッドビューが追加され、テーブルコンポーネントデータのフィルタリング、グループ化、および並べ替えが可能になりました。</p> <p>詳細については、テーブルコンポーネントグリッドビューを参照してください。</p>

Excelからテーブルコンポーネントをインポートする

リクエスト詳細ページで、Microsoft Excelからテーブルコンポーネントをインポートできます。

詳細については、[Excelからテーブルコンポーネントをインポートする](#)を参照してください。

<p>テキスト領域検証用の新しいデータマスク: HTML - リッチテキストフィールド</p>	<p>新しいデータマスク: HTML - リッチテキストフィールドがテキスト領域の検証に追加されました。この新しいデータマスクは、リクエストタイプまたはリクエストヘッダータイプのテキスト領域フィールドでのみ使用できます。</p> <p>詳細については、テキスト領域の検証設定を参照してください。</p>
<p>特定のリクエストタイプのリクエストをコピーしないようにする</p>	<p>ユーザーが特定のリクエストタイプのリクエストをリクエストの詳細ページからコピーできないようにするには、ラジオボタン有効なコピーリクエストをいいえとします。ただし、ユーザーは特殊コマンドを実行することで依然リクエストをコピーできます。</p> <p>詳細については、リクエストタイプの一般情報の設定を参照してください。</p>
<p>[リクエスト詳細] ページの視覚化が改善されました</p>	<p>[リクエスト詳細] ページの表示は、よりユーザーフレンドリーです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ページを下にスクロールすると、アクションボタンの右側にリクエストタイプとリクエスト番号が表示されました。 • 新しいボタン: トップに戻るが [保存] ボタンの左側に追加されました。このボタンをクリックすると、ページの一番上に移動します。 <p>詳細については、リクエスト詳細ページ、上部セクションを参照してください。</p>
<p>REST APIを使用して、既存のリクエスト間の参照を関連づける</p>	<p>REST API <code>put/dm/requests/</code>を使用できます</p> <p><code>{requestId}/addReference/{targetReqIds}/{refRelName}</code>を使用して、既存のリクエスト間の参照を関連付けます。</p> <p>詳細については、対話型REST APIヘルプを参照してください。</p>

<p>リクエストタイプの高度な検索では、リクエストヘッダータイプによるフィルタリングもサポートされています</p>	<p>RESTを使用する場合 API <code>post/dm/requestTypes/{id}/requests/advancedSearch</code>を使用して、特定のリクエストタイプの高度な検索を実行します。また、リクエストヘッダータイプでフィルタリングすることもできます。</p> <p>詳細については、対話型REST API ヘルプを参照してください。</p>
<p>RequestRulesUserLibrary.jsが有効になるよう変更を加える簡単な方法</p>	<p>次の方法を使用して、RequestRulesUserLibrary.js 有効にする:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラウザーのキャッシュをクリアアップする (Ctrl+F5 (Webブラウザ上)、または • PPMサーバーを再起動する、または • パラメーターCHECK_STATIC_JS_FILES_UPDATESをtrueに設定する

ポートフォリオタイプ

ポートフォリオタイプを使用して、ポートフォリオタイプを使用するポートフォリオにデフォルト設定またはビジネスルール (またはポートフォリオ設定) を課することができるようになりました。

- PPMは、ポートフォリオタイプを作成および構成して、組織内のさまざまなポートフォリオセットの管理を標準化できます。ポートフォリオタイプ「企業」は、インストールまたはアップグレード時に含まれます。詳細については、[ポートフォリオタイプ](#)を参照してください。
- ポートフォリオを作成するとき、ポートフォリオマネージャーは、ポートフォリオに適用する設定のポートフォリオタイプを選択できます。詳細については、[ポートフォリオの作成と設定](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

<p>エンティティタイプのアイコンをカスタマイズする</p>	<p>PPMエンティティタイプのアイコンをカスタマイズできます。アイコンは、ポートフォリオ管理モジュールとチーム管理モジュールのページに表示されます。</p> <p>詳細については、PPMエンティティタイプのアイコンのカスタマイズを参照してください。</p>
--------------------------------	---

<p>リストの検証値の編集の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● リストの検証値の編集ページから、リストの検証値のユーザーデータを編集できます。 ● チェックボックスExcelファイルに含まれていないルックアップを削除するが、誤って値を削除しないように [リスト検証値の編集] ページに追加されました。 <p>詳細については、Web UIからのリスト検証値の編集を参照してください。</p> <p>注記: アップグレード前にダウンロードしたExcelファイルは機能しなくなるため、アップグレード後に検証ルックアップExcelファイルを再度ダウンロードする必要があります。</p>
<p>テーブルコンポーネントルールのコピー</p>	<p>他のテーブルコンポーネントからテーブルコンポーネントルールをコピーできます。</p> <p>詳細については、ルールの設定を参照してください。</p>

PPM-JIRA統合の更新

次の機能拡張がPPM-Jira統合に追加されました。

<p>JIRAからPPMにリソースをインポートするかどうかを選択するJIRA</p>	<p>JIRA課題にアサインされたリソースを、マップされたPPMタスクのリソースデータフィールドにインポートするかどうかを決定できます。</p> <p>詳細については、作業計画統合オプションを参照してください。</p>
<p>Jira問題ステータス:をPPMリーフタスクステータスにマップ</p>	<p>[統合構成] ページで、Jiraの問題ステータスをPPMリーフタスクのステータスにマッピングできます。</p> <p>詳細については、Jira問題ステータスをPPMタスクステータスにマップするに参照してください。</p>

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

<p>HTML +ポートレット定義を編集するときのクイック保存</p>	<p>HTML +ポートレット定義のコードを編集する場合、クイック保存ボタンをクリックするか、CtrlとSを押すと、ページをリロードせずに変更を保存できます。その結果、HTML +ポートレットをテストし、離れた場所に戻って編集を続けることができます。</p> <p>詳細については、表示オプションの設定 - HTML +ポートレットを参照してください。</p>
<p>セルフサービスポートレットに追加された新しいチャートタイプ</p>	<p>次の新しいチャートタイプがセルフサービスポートレットに追加されました。折れ線グラフ、面グラフ、積み上げ面グラフ、円グラフ、ドーナツグラフ。</p> <p>詳細については、表示オプションの設定 - セルフサービスポートレットを参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

<p>作業計画内のチームアサイン</p>	<p>フィーチャートグル作業計画内のチームアサインをオンにすると、チームがスタッフィングプロファイルのポジションにアサインされるときに、このチームのリソースを作業計画タスクにアサインすることができます。</p> <p>詳細については、タスク上での複数のリソースのブック処理を参照してください。</p>
<p>スタッフィングプロファイルとリソースプール検索結果をXLSXファイルにエクスポートする</p>	<p>スタッフィングプロファイルとリソースプールの検索結果をExcelにエクスポートすると、XLSファイルではなくXLSXファイルにエクスポートされます。</p>

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

<p>タイムシートのコピーオプションを設定する</p>	<p>PPM管理者は、機能の切り替えを使用して次のことを決定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ユーザーがWeb UIからタイムシートをコピーできるかどうか。 • コピーしたタイムシートに含めるデータの選択。 <p>詳細については、タイムシートのコピーを参照してください。</p>
<p>Rest APIを使用して保留中のタイムシートを取得する</p>	<p>時間の承認者は、REST API Get/tm/timeSheets/approvableを使用して、承認待ちのタイムシートのリストを取得できます。</p> <p>詳細については、インタラクティブREST APIヘルプを参照してください。</p>

チーム管理の機能拡張

次の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チーム概要のポートレット

PPMは、リソース数およびチームのランニングコストの2つのポートレットを提供します。これらの2つのポートレットを [チームの概要] タブに追加できます。

詳細については、[リソース数](#)および[合計ランニングコスト](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

コストルールを検索するとき新しいUIを使用する

フィーチャートグルをオンにすると、コストルールの検索時に新しいUIを使用、コストルールの検索時に、返されたコストルールのリストが新しいUIに表示されます。必要に応じてコストルールをグループ化できます。

詳細については、[コストルールの管理](#)を参照してください。

注記: ブラウザーのWebストレージが有効になっていることを確認してください。これにより、新しいUIの全機能を利用できるようになります。

Kubernetesサポート (ベータ版)

PPMはKubernetes環境をサポートするようになりました。

 参照:

- [PPMのReadme](#)

PPM 9.62の新機能

このセクションでは、PPM 9.62で導入または拡張された機能の概要を説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

新しいビュー: ポートフォリオバックログのロードマップ

ロードマップビューがポートフォリオバックログに導入されました。ポートフォリオコンテンツのスケジュール関連情報をすばやく表示できます。

詳細については、[ロードマップビュー](#)を参照してください。

<p>ポートフォリオバックログでバックログアイテムを直接編集する</p>	<p>詳細ページを開かなくても、ポートフォリオバックログ単純リストビューとボードビューでバックログアイテムを直接編集できます。</p> <p>詳細については、単純リストビューおよびボードビューを参照してください。</p>
<p>新規アクセス許可: ポートフォリオの作成</p>	<p>ポートフォリオの作成アクセス許可が追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新規ユーザーの場合、ポートフォリオを作成するには、ポートフォリオの作成権限が必要です。 アップグレードされたユーザーの場合、アップグレード前に [ポートフォリオの編集] または [すべてのポートフォリオの編集] アクセス許可がある場合、デフォルトでは、アップグレード後に [ポートフォリオの作成] 権限があります。 <p>詳細については、ポートフォリオ管理権限を参照してください。</p>
<p>ポートフォリオのコンテンツとタイムラインタブを非表示にする</p>	<p>PPMには、管理者がポートフォリオの詳細ページの [コンテンツ] タブと [タイムライン] タブを非表示にするための2つのパラメーターが追加されました。</p> <ul style="list-style-type: none"> SHOW_PORTFOLIO_CONTENTS_IN_PORTFOLIO SHOW_PORTFOLIO_TIMELINE_IN_PORTFOLIO <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

チャットボットの機能拡張

次の機能拡張がPPMチャットボットに追加されました。

<p>チャットボットが通知を送信できるようにする</p>	<p>さまざまなイベントの通知を送信するようにPPMチャットボットを構成できます。PPMは、すぐに使用できる2つの通知テンプレートを提供します。チャットボットの新しいテンプレートを作成して、他のイベントの通知を送信することもできます。</p> <p>詳細については、チャットボットの設定通知を送信するを参照してください。</p>
<p>ユーザーがチャットボットでワークフローステップを処理できるようにする</p>	<p>受信者がチャットボットのワークフローステップに基づいて行動できるように、決定ワークフローステップを構成できます。</p> <p>詳細については、チャットボットで意思決定ワークフローステップの実行を有効にするを参照してください。</p>

チャットボットウェルカムセンテンスをカスタマイズする	チャットボットがユーザーに送信するウェルカムセンテンスをカスタマイズできます。 ウェルカムセンテンスのカスタマイズ を参照してください。
----------------------------	--

チーム管理の機能拡張

以下の機能拡張がチーム管理モジュールに追加されました。

チームの概要タブのカスタマイズ	<ul style="list-style-type: none"> PPM管理者は、システム内のすべてのチームの[概要]タブのデフォルトビューを設定できます チームマネージャーは、チームの概要レイアウトを変更して、デフォルト設定を上書きできます。 <p>詳細については、概要タブのデフォルト設定とチーム概要を参照してください。</p>
無効にされたチームを表示	<p>[無効にされたチームを表示] チェックボックスをクリックすると、[マイチームとすべてのチーム] ページで無効なチームを表示できます。</p> <p>詳細については、チームの設定を参照してください。</p>
他のチームにすでに追加されているリソースを追加すると、確認がポップアップ表示される	<p>すでに他のチームにあるリソースをチームに追加すると、確認ウィンドウがポップアップ表示され、これらのリソースをチームに追加すると、それらのリソースも削除され、それらのチームのキャパシティがクリアされることを通知します。</p> <p>詳細については、リソースの追加を参照してください。</p>

機能拡張のインストール

PPM 9.62は、次の方法でインストールできます。

- PPM 9.62を直接インストールします。特殊コマンドinstall_auto.shを使用して、PPM 9.62をインストールします。詳細については、[PPM 9.62のインストール](#)を参照してください。
- 9.6xからアップグレードします。
詳細については、[PPM 9.61-9.62へのアップグレード](#)を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

セルフサービスポートレット	<p>新しいポートレットタイプ: セルフサービスポートレットが導入されました。ポートフォリオモジュールで使用できます。表示するデータとその表示方法を完全に柔軟に定義できます。</p> <p>詳細については、表示オプションのセットアップ - セルフサービスポートレットを参照してください。</p>
改良されたピボットテーブルポートレットサポートフィルターのすべての行と列	<p>改良されたピボットテーブルのすべての行と列は、ページングフィルターとして使用できます。ピボットテーブルの右側にある [フィルター] ペインをクリックして、フィルターを選択します。</p>
改良されたピボットテーブルポートレットは、ピボットデータセットの制限を無視します	<p>改良されたピボットテーブルのポートレットは、[ピボットデータセットの制限を無視する] 機能がオンになっている場合、server.confファイルのパラメーターによって制御されるピボットデータセットの制限を無視します。</p> <p>詳細については、ピボットテーブルのサイズと一意の値の数を制御するを参照してください。</p>

管理の機能拡張

次の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

<p>PPMユーザーがパスワードをリセットできるようにする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 管理者は、ユーザーが毎回連絡することなくPPMパスワードをリセットできるようにすることができます。ユーザーに送信されるパスワードリセットメッセージをカスタマイズできます。 <p>詳細については、ユーザーによるパスワードのリセットの有効化を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> PPMにログインするときに、パスワードを思い出せない場合は、パスワードをリセットして新しいパスワードを作成できます。 <p>詳細については、パスワードのリセットを参照してください。</p>
<p>PPMサーバーにファイルをアップロードする</p>	<p>PPMサーバーが開発モードで実行されている場合は、管理コンソールからPPMサーバーにファイルをアップロードできます。</p> <p>詳細については、<PPM_Home> ディレクトリへのファイルのアップロードを参照してください。</p>

最後に成功したログオン試行と失敗したログオン試行の時間を追跡する	このバージョン以降、PPMは最後に成功したログオン試行と失敗したログオン試行の時間を追跡します。情報を表示するには、PPMページの右上隅にあるリソースアイコンをクリックします。
kSync.shの改善	次の機能拡張がkSync.shに追加されました。 <ul style="list-style-type: none"> パラメーターを使用して、データベースのパスワードを渡すことができます。 PPMサーバーの実行中に、「content」フォルダーをデプロイできます。 詳細については、 kSync.sh を参照してください。
サーバーを再起動する前に、「content」フォルダーと「customization」フォルダーを再デプロイします	管理コンソールからPPMサーバーノードを再起動すると、サーバーを再起動する前に「content」および「customization」フォルダーを再デプロイできます。 <p>詳細については、PPMノードの再起動を参照してください。</p>
起動前にファイルシステムのバージョンをデータベースのバージョンと照合する	PPM Centerは、開始する前にファイルシステムのバージョンとデータベースのバージョンを比較します。ファイルシステムのバージョンがデータベースのバージョンと異なる場合、PPMは起動に失敗します。 <p>詳細については、起動チェックを参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

プログラムを検索するときに完成したプログラムを除外する	ラジオボタン終了したプログラムを含める:が [プログラムの検索] ページに追加されました。デフォルトでは、プログラムを検索すると、完成したプログラムは検索結果から除外されます。 <p>Webサービスを呼び出してプログラムを検索する場合は、完成したプログラムを検索結果から除外するように選択できます。</p> <p>詳細については、プログラムの検索およびsearchProgramを参照してください。</p>
-----------------------------	---

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>クイックビューに作業計画でのスケジュールされた工数を手動で入力する</p>	<p>タスクの詳細ページで [スケジュールされた工数を手動で制御] オプションが選択されている場合、作業計画のクイックビューでリーフタスクのスケジュール作業を手動で入力できるようになりました。</p>
<p>Rest APIを使用してプロジェクトの状態をオーバーライドする</p>	<p>これで、Rest APIを使用してプロジェクトヘルスをオーバーライドできます。</p> <p>詳細については、対話型REST API ヘルプを参照してください。</p>

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

<p>コストビューでのスタッフィングプロファイルのエクスポート</p>	<p>以前は、コストビューでスタッフィングプロファイルをエクスポートすると、エクスポートされたExcelにポジションのデマンドとアサインメントが表示されていました。</p> <p>これで、ポジションのデマンドとアサインが、エクスポートされたExcelのコストに表示されます。原価は、スタッフィングプロファイルの原価ビューで選択した通貨で表示されません。</p>
<p>特定のプールのリソースカレンダーとリソース情報ページをマイリンクに追加します</p>	<p>特定のリソースの [リソースカレンダー] または [リソース情報] ページを表示していて、そのページを [マイリンク] に追加すると、ページリンクにリソースが記憶されます。次回マイリンクからページを開くときに、リソースを再度指定する必要はありません。</p>

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

マイタイムシートポートレットに合計工数を表示する	合計工数列がマイタイムシートポートレットに追加されました。詳細ページに移動しなくても、各タイムシートの合計工数を表示できます。
Rest APIを使用してリソースのカレンダーを取得する	Rest APIを使用して、特定のリソースのカレンダーを取得できます。
Rest APIを使用してタイムシートをキャンセルする	Rest APIを使用して、未提出のタイムシートをキャンセルできます。
Rest APIを使用して、特定のタイプの作業項目を検索する	Rest APIを使用して、特定のタイプの作業項目を検索できます。

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

クイック編集ページからリクエストを作成する	クイック編集ページからリクエストを作成できます。 詳細については、 クイック編集ページからのリクエストの作成 を参照してください。
フィールド値を設定するためのUIルール	新しいUIルールがリクエストタイプに導入されました。これにより、URLパラメーターからトークン値を読み取り、対応するリクエストフィールドに設定できます。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

基本通貨での編集コストとメリットを無効にする

「ユーザが基本通貨でコストとベネフィットを編集できるようにする」機能の切り替えをオフにすると、ユーザーは財務概要の費用と便益を現地通貨でのみ編集できます。[コストの追加と編集とメリットの表示、追加、編集](#)を参照してください。

廃止

次のアイテムは廃止になりました。

DMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_WHITE_LISTパラメーターが削除されました。代わりにDMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_ALLOW_LISTパラメーターを使用してください。

アップグレード前にDMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_WHITE_LISTパラメーターの値を設定した場合、アップグレード後に目的の種類ファイルのPPMにアップロードするには、新しいパラメータに値を追加する必要があります。



参照:

- [PPM 9.61の新機能](#)
- [PPM 9.60の新機能](#)
- [PPMのReadme](#)

PPM 9.61の新機能

このセクションでは、PPM 9.61で導入または拡張された機能の概要を説明します。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

<p>ポートフォリオバックログに追加された新しいビュー</p>	<p>ポートフォリオのバックログに階層およびボードの2つの新しいビューが導入されました。ビューは、バックログアイテムを整理および表示するためのさまざまな方法を提供します。</p> <p>詳細については、ポートフォリオバックログビューを参照してください。</p>
<p>ポートフォリオ概要のカスタマイズ</p>	<p>有効にすると、PPM管理者はシステム内のすべてのポートフォリオの[概要]タブのデフォルトビューを設定でき、ポートフォリオマネージャーはポートフォリオの概要レイアウトを変更してデフォルト設定を上書きできます。</p> <p>詳細については、ポートフォリオ概要を参照してください。</p>
<p>グローバルポートフォリオと上位ポートフォリオの戦略テーマをコピーする</p>	<p>これで、グローバルポートフォリオと上位ポートフォリオの戦略テーマをポートフォリオにコピーしてから、ポートフォリオの戦略テーマを編集できるようになりました。</p> <p>詳細については、戦略的調整情報のキャプチャを参照してください。</p>

<p>ポートフォリオ内にサブポートフォリオと提案を作成して追加する</p>	<p>下位ポートフォリオと提案を直接作成してポートフォリオに追加できます。これは、バックログタブでのみ使用できます。</p> <p>詳細については、ポートフォリオバックログのポートフォリオコンテンツの管理を参照してください。</p>
---------------------------------------	--

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>スタッフィングプロファイルから作業計画を同期する</p>	<p>スタッフィングプロファイルからプロジェクト作業計画を同期する場合、ポジションとしてスタッフィングプロファイルに同期されたタスクについて、それらのリソースとスケジュール作業データはポジションから同期されます。</p> <p>詳細については、スタッフィングプロファイルから作業計画を同期を参照してください。</p>
<p>プロジェクトマネージャーがリソース割り当てを編集できるようにする</p>	<p>スタッフィングプロファイルのリソース割り当ての編集アクセス許可が追加されました。このアクセス許可を持つプロジェクトマネージャーは、リソースがリソースプールに属しているかどうかに関係なく、スタッフィングプロファイルのリソース割り当てを編集できます。</p> <p>詳細については、リソース計画用のスタッフィングプロファイルの使用を参照してください。</p>
<p>タイムシートからのコストにも USE_ROLE_OF_TASK_FOR_WP_COSTSが適用される</p>	<p>PPMがタスクのロールまたはタスクのリソースのロールに基づいて作業計画の計画コストを計算するかどうかを制御する</p> <p>USE_ROLE_OF_TASK_FOR_WP_COSTSパラメーターは、タスクのタイムシートに対してログに記録された時間から計算されたコストにも適用されるようになりました。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

<p>プロジェクト名が変更されたときにエクスポートされたPDFタイトルを変更する</p>	<p>プロジェクトまたはダッシュボードページをPDFにエクスポートするたびに、PPMはプロジェクトまたはページの名前を読み取り、その名前をPDFタイトルに反映します。</p> <p>PDFタイトルをプロジェクトまたはダッシュボードページ名とは異なるものに変更すると、PPMはそのタイトルをデータベースに保存し、保存されたタイトルを次のPDFエクスポートで使用します。</p> <p>詳細については、プロジェクトと作業のエクスポート計画を参照してください。</p>
<p>タスクユーザーデータの監査証跡</p>	<p>タスク監査証跡は、タスクユーザーデータの変更を追跡するようになりました。</p> <p>詳細については、追跡プロジェクト、作業計画、およびタスク監査証跡を参照してください。</p>
<p>REST APIを使用して、タスクをマイルストーンとして設定します</p>	<p>これで、REST APIを使用してタスクをマイルストーンとして設定できるようになりました。</p> <p>詳細については、インタラクティブREST APIヘルプを参照してください。</p>

デプロイメントの改善

PPMのアップグレードを容易にするために、9.61でいくつかのデプロイメントの改善を実装しました。

詳細については、[PPMデプロイメントの改善](#)を参照してください。

リソース管理の機能拡張

次の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

<p>特定のプールの [割り当ての管理] ページを [マイリンク] に追加する</p>	<p>特定のリソースプールの [割り当ての管理] ページを表示していて、そのページを [マイリンク] に追加すると、ページリンクにリソースプールが記憶されます。次回マイリンクからページを開くときに、リソースプールを再度指定する必要はありません。</p>
---	--

STAFFING_PROFILE_REQUIRED_COLUMNSもポジションポップアップウィンドウで機能する

スタッフィングプロファイルの必須列を設定するために **STAFFING_PROFILE_REQUIRED_COLUMNS** パラメーターを使用する場合、この列は、ポジションをインライン編集する場合と、ポジションポップアップウィンドウでポジションを編集する場合の両方で必要です。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

ダッシュボードページフィルター

- **dashboard.Page-Filters-Usage** サーバーパラメーターが削除されました。フィーチャートグルビルダポートレット用のダッシュボードページフィルターを使用して、ダッシュボードページフィルターを有効または無効にできます。
- ダッシュボードページフィルターは、Javaポートレットからフィルターを除外します。

詳細については、[ダッシュボードページフィルターの使用](#)を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

Shift +クリックは、「日 (日数)」入力モードを使用したタイムシートで機能します

日単位で時刻を入力する場合は、Shiftキーを押しながらクリックショートカットを使用して、セルの値をコピーして貼り付けることができます。

詳細については、[タイムシートのログ時間](#)を参照してください。

PPMチャットボットの機能拡張

PPMチャットボットがオートコンプリートリストフィールドの情報を要求するためにチャットする場合、完全な情報を入力する代わりに、キーワードを入力して、キーワードを含むオプションのリストから正確な情報を選択するだけです。

ヘルプセンター

ヘルプセンターのホームページを新しく更新しました。ご意見をお聞かせください。

あなたの電子メールを以下に送ってください: docteam@microfocus.com

廃止

次の項目は廃止になりました。

項目	詳細
dashboard.Page-Filters-Usage パラメーター	このパラメーターは削除されました。PPM管理者は、機能の切り替えビルダポートレット用のダッシュボードページフィルタを使用して、ダッシュボードページフィルタの使用を有効にするかどうかを制御できます。 詳細については、 ダッシュボードページフィルタの使用 を参照してください。
SYNC_POSITIONS_FROM_WORKPLAN パラメーター	このパラメーターは削除されました。PPM管理者は、機能の切り替えタスクとポジション間の同期をオンにして、プロジェクトマネージャーが作業計画タスクからポジションを同期できるようにすることができます。 詳細については、 作業計画タスクからのポジションの同期 を参照してください。

PPM 9.60の新機能

このセクションでは、PPM 9.60で導入または拡張された機能の概要を説明します。

PPM Enterprise Suite コンカレントライセンス

PPM 9.60では、新しいライセンスタイプが導入されました。Enterprise Suite コンカレントユーザー。このライセンスタイプを使用すると、潜在的なユーザーのグループ間でライセンスのプールを共有できるため、どの時点でも最大同時ライセンス数を超えないようにすることができます。

詳細については、[コンカレントライセンス](#)を参照してください。

PPM for Mobile モバイルの更新

PPM for Mobile エリアに以下のアップデートが追加されました。

PPM for Mobile の新しいアプリ: タイムシートを承認する	Approve Time Sheet アプリがPPM for Mobileで利用できるようになりました。このアプリを使用して、タイムシートとタイムシートラインを表示および承認できます。 詳細については、 タイムシートの承認 を参照してください。
--	---

ドリルダウン先ポートレットを表示できる	PPM for Mobileダッシュボードは、ドリルツリーポートレットの表示をサポートしています。
タブレットをサポート	iPadやその他のタブレットでPPM for Mobileを使用できます。

ポートフォリオ管理の機能拡張

以下の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

ポートフォリオバックログ

バックログタブがポートフォリオの詳細ページで利用できるようになりました。これにより、ポートフォリオのすべてのバックログアイテムを、それらが提供する価値の観点から表示できます。

見やすくするために、タブでは次のことができます。

- バックログアイテムのグループ化、フィルタリング、および並べ替え
- 個人的なお気に入りのビューを設定する

詳細については、[ポートフォリオバックログの管理](#)を参照してください。

サブポートフォリオのクリック可能なリンク

ポートフォリオの [コンテンツ] > [下位ポートフォリオ] タブにリストされている下位ポートフォリオがクリック可能になりました。リンクをクリックすると、下位ポートフォリオの詳細ページに移動します。

Micro Focus PPM Connector

Micro Focus Connect用のMicro Focus PPM Connect (Micro Focus PPM Connector) を使用すると、リクエストなどのPPMアセットを他のMicro Focus Connectorのアセット (たとえば、Micro Focus ConnectのJiraコネクターにあるアセット) と同期できます。

Micro Focus PPM Connectorの詳細については、次のリソースにアクセスしてください。

- Micro Focus PPM Connectorをダウンロードするには、<https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/content/micro-focus-connect-connectors>にアクセスしてください。
- Micro Focus PPM Connectorの設定方法を説明するreadmeをダウンロードするには、<https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/content/micro-focus-connect-connectors>。
- Micro Focus Connectのドキュメントについては、<https://admhelp.microfocus.com/connect>を参照してください。

PPMチャットボット

PPMチャットボットが登場！ Microsoft TeamsのPPMチャットボットとチャットすることで、プロジェクトのリスクを作成するなど、PPMを開かずにPPM PPM-relatedアクティビティを自動化できます。

これは、より重要な他の領域に割り当てることができる時間を節約するのに役立ちます。

PPMチャットボットのリソースについては、PPMマーケットプレイスにアクセスしてください: <https://marketplace.microfocus.com/appdelivery/category/all?product=Project-and-Portfolio-Management>。

ダッシュボードの機能拡張

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

<p>ユーザーのグループごとに異なるダッシュボードランディングページを設定する</p>	<p>PPM管理者は、次のことができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ユーザーのグループごとに異なるダッシュボードランディングページを設定する ユーザーが独自のランディングページを設定できるかどうかを制御する <p>詳細については、ダッシュボードランディングページの設定を参照してください。</p>
<p>HTML +ポートレットで複数のデータソースを使用する</p>	<p>HTML +ポートレット定義を作成または編集するときに、データソースを追加できます。これにより、HTML +ポートレットは複数のデータソースからデータを取得できます。</p> <p>詳細については、ポートレットの定義の作成と保守および表示オプションのセットアップ - HTML +ポートレットを参照してください。</p>
<p>HTMLおよびHTML +ポートレット定義用の改善されたテキストエディター</p>	<p>改善されたテキストエディターを使用して、HTMLおよびHTML +ポートレット定義のコードを編集できるようになりました。</p>

機能の切り替えの機能拡張

機能の切り替えページが拡張され、機能をすばやく見つけることができるようになりました。

- [機能の切り替え] ページの機能は、時系列の逆順に表示されるようになりました。最新の機能が上部に表示されます。
- キーワードとフィルターで機能を検索できます。

詳細については、[機能の切り替えを使用した機能のオン/オフ](#)を参照してください。

管理の機能拡張

以下の機能拡張が管理モジュールに追加されました。

管理コンソールはクリックされたアイテムのみをロードする	このバージョンより前では、管理コンソールを開くと、PPMはすべてのJSPページをロードします。このバージョン以降、PPMは、管理コンソールでクリックしたアイテムのページのみをロードします。
PPMの使用状況を監視する	システム管理者は、ユーザーのPPM使用状況データを監視して、PPMのどの部分が最も使用されているかを理解できます。この機能は、PPMデスクトップとPPM for Mobileの両方に適用されます。 詳細については、 PPM使用状況の監視 を参照してください。
ユーザー情報の更新に関する監査履歴	PPMは、PPMユーザー情報へのすべての変更をITG_AUDIT_LOGSテーブルに記録するようになりました。
menu.xmlのカスタマイズで、既存のメニュー項目のURLの変更がサポートされるようになった	update_menu.xmlファイルをカスタマイズすることにより、既存のメニュー項目のURLを変更できます。 詳細については、 既存のメニュー項目を更新する を参照してください。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

名前または説明でマイアイテムと推奨項目を検索

新しいフィールド項目名または説明が次の文字列を含むが含まれている場合は、[タイムシートへの項目の追加] ウィンドウで使用できます。ファイルにキーワードを入力して、名前または説明にキーワードが含まれているアイテムを検索できます。

詳細については、[マイアイテムリストの使用](#)および[推奨項目リストの使用](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

次の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

リクエストを編集する権限を持つユーザーがプロジェクトリクエストフィールドのクイック編集を実行できるようにする

プロジェクトリクエストを編集する権限がある場合、プロジェクトを編集する権限がない場合でも、リクエストのクイック編集モードでリクエストフィールドを更新できるようになりました。

リソース管理の機能拡張

次の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

AALおよびARPポートレットのバーの上に合計を表示する

バーの合計が [リソース プールの分析] および [アサインの負荷の分析ポートレット] のどこに表示されるかを制御できます。バーの上部、またはバーのツールチップです。

注記: 合計の小数表示も変更しました。PPMは、1桁の合計の場合は小数点以下2桁、2桁の合計の場合は小数点以下1桁を保持し、3桁以上の合計の場合は小数点以下1桁を保持します。

詳細については、PPMページを開いてください。[管理コンソール>管理タスク>機能の切り替え](#)。

プログラム管理の機能拡張

次の機能拡張がプログラム管理モジュールに追加されました。

ksc_take_snapshotはプログラムで機能する

特殊コマンドksc_take_snapshotを使用して、プログラムワークフローから財務サマリーのスナップショットを取得できます。

廃止

次の項目は廃止になりました。

項目	詳細
モバイルユーザがモバイルのダッシュボードランディングページを独自に設定できるようにする機能の切り替え	<p>機能の切り替えが削除されました。PPM管理者は、[ダッシュボードランディングページの設定] ページで [モバイルユーザーがモバイルランディングページを設定できるようにする] オプションを使用して、ユーザーが独自のモバイルランディングページを設定できるかどうかを制御できます。</p> <p>詳細については、ダッシュボードランディングページの設定を参照してください。</p>

PPM 9.55の新機能

このセクションでは、PPM 9.55で導入または拡張された機能の概要を説明します。

PPM for Mobileの更新

次の更新がPPM for Mobileに追加されました。

<p>モバイルダッシュボードのランディングページ</p>	<p>PPM for Mobileにダッシュボードランディングページが追加されました。</p> <p>デフォルトでは、モバイルランディングページはPPMデスクトップランディングページと同じです。PPM管理者によって許可されている場合は、モバイルランディングページとして別のダッシュボードページを設定できます。</p> <p>詳細については、ダッシュボードランディングページの設定を参照してください。</p>
<p>モバイルWebクライアントに適用できるワークフローアクションをカスタマイズする</p>	<p>管理者は、特定のワークフローを使用する要求をモバイルWebクライアントにリストするかどうか、およびワークフローステップをモバイルWebクライアントで使用するかどうかを設定できます。</p> <p>モバイルユーザーは、モバイルWebクライアントで使用するよう設定されているワークフローステップでのみ操作できます。これにより、リクエストの承認の使いやすさと効率が向上します。</p> <p>詳細については、モバイルで使用されるワークフローステップの選択およびリクエストに応じて行動するを参照してください。</p>
<p>リクエストのメモを追加する</p>	<p>利害関係者間でアイデアを交換するためのリクエストのメモを追加できます。</p> <p>詳細については、メモの追加を参照してください。</p>
<p>リクエストは待機時間の降順で一覧表示される</p>	<p>リクエストの待機時間は、ワークフローステップが最後に変更されてからの時間です。待機時間が最も長いリクエストが一番上に表示されるようになります。</p> <p>詳細については、モバイルで利用可能なリクエストをご覧ください。</p>
<p>詳細情報を提供する先読み画面</p>	<p>リクエストに対して実行しているアクションで詳細情報の提供が必要な場合は、リクエストの「先読み」画面がポップアップして、入力する必要のある情報が一覧表示されます。</p> <p>詳細については、リクエストの検索を参照してください。</p>
<p>モバイルWebクライアントの新しいバージョンの新しい名前: PPM for Mobile</p>	<p>新しいバージョンのモバイルウェブクライアントをPPM for Mobileと呼びます。したがって、モバイルWebクライアントユーザーガイドの名前をPPM for Mobileユーザーガイドに変更します。</p>

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

<p>財務サマリーコストを編集するときに新しいUIを使用する</p>	<p>PPMは、[コストの編集] ページに新しいUIを導入しました。新しいUIは、データの簡単な編集、並べ替え、グループ化、フィルタリングなど、より優れたユーザーエクスペリエンスを提供します。</p> <p>詳細については、グループ化、フィルタリング、並べ替えコストおよびコストの編集ページでの制御列の表示を参照してください。</p>
<p>過去の月の予測コストと実績コストのロック</p>	<p>PPMを使用すると、ユーザーが過去の月のコスト(予測、実績、またはその両方)を編集できないようにすることができます。</p> <p>この機能は、[コストの編集] ページの新しいUIでのみ機能します。</p> <p>詳細については、予測と過去の月の実績コストのロックを参照してください。</p>
<p>提案と資産の財務サマリー設定のデフォルト値を設定できる</p>	<p>PPMは、管理コンソールに6つのパラメーターを導入して、新しい提案と資産の財務サマリー設定がデフォルトでチェックされるかどうかをそれぞれ制御します。</p> <p>パラメーターは次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ENABLE_PROPOSAL_SP_SYNCHRONIZED • ENABLE_PROPOSAL_TM_ACTUAL_SYNCHRONIZED • ENABLE_PROPOSAL_TRACK_CAPITAL_COST • ENABLE_ASSET_SP_SYNCHRONIZED • ENABLE_ASSET_TM_ACTUAL_SYNCHRONIZED • ENABLE_ASSET_TRACK_CAPITAL_COST <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

プロジェクト管理の機能拡張

以下の機能拡張がプロジェクト管理モジュールに追加されました。

<p>クローズされたタスクに対して時間を記録する際の制御と視覚化の改善</p>	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクトマネージャー向けに新しいプロジェクト設定オプションが追加され、送信者が完了およびキャンセルされたタスクで実行できる時間を制御できるようになりました。 タイムシートページで、キャンセルおよび完了したタスクの視覚的な手がかりが改善されました。 <p>詳細については、時間管理設定およびタイムシートの明細の視覚的な手がかりを参照してください。</p>
<p>作業計画のクイックビューに「拡張先」オプションを追加</p>	<p>作業計画クイックビューの [拡張先] オプションを使用して、作業計画を2から7までの指定されたレベルに展開または折りたたむことができるようになりました。</p> <p>詳細については、レベルの展開/折りたたみを参照してください。</p>
<p>コストヘルスインジケータ、計画コストウィジェット、およびコストタブを個別に表示または非表示にする</p>	<p>プロジェクト設定 ページ > プロジェクト概要のレイアウトポリシー で個別のオプションを使用して、コストヘルスインジケータ、計画コストウィジェット、および [コスト] タブを個別に表示または非表示にできるようになりました。</p> <p>詳細については、プロジェクトの概要レイアウトポリシーを参照してください。</p>
<p>計画コストウィジェットとプロジェクトコストポートレットの時間範囲を選択する</p>	<p>PPMは、プロジェクト設定に新しいオプションを追加して、[計画コスト] ウィジェットと [プロジェクトコスト] ポートレットでどの期間のコストを計算するかを決定できるようにしました。プロジェクト計画期間、または財務サマリーの全期間です。</p> <p>詳細については、財務管理設定を参照してください。</p>

<p>プロジェクト設定で「アクティビティが必要」を表示/非表示</p>	<p>管理者は、フィーチャートグルを使用できます。プロジェクト設定のTMセクションに「アクティビティが必要」を表示プロジェクト設定ページのアクティビティが必要オプションを表示するかどうかを制御する。</p> <p>詳細については、時間管理設定を参照してください。</p>
-------------------------------------	---

ダッシュボード

次の機能拡張がダッシュボードモジュールに追加されました。

<p>新しいダッシュボードポートレットタイプ: HTML +ポートレット</p>	<p>HTML、CSS、およびJavaScript言語を使用してダッシュボードデータソースからのデータを活用する「HTML +」ポートレットタイプ定義を作成できます。</p> <p>詳細については、標準ポートレット定義の作成を参照してください。</p>
<p>改良されたピボット テーブル ポートレットを使用</p>	<p>PPMは、ピボットテーブルポートレットの改良版を導入しました。「改良されたピボット テーブル ポートレットを使用」機能がオンになっている場合に使用されます。</p> <p>改良されたバージョンは、データビューを最適化し、柔軟性を高めます。</p> <p>注記: ピボットテーブルのポートレットをExcelにエクスポートし、データグループとHTML効果をExcelファイルに予約する場合は、ポートレットのリスト表示をExcelにエクスポートして、グループ形式とHTML効果をExcelファイルに再作成できます。</p>
<p>ポートレットタイトルを変更する簡単な方法</p>	<p>ポートレットのタイトルを変更するには、ポートレットのタイトルをダブルクリックして、タイトルを編集します。</p> <p>プライベートダッシュボードページのポートレットにのみ適用されます。</p>
<p>リストポートレットは、CLOBデータ型の表示をサポート</p>	<p>リストポートレットは、特定の列に対して4,000文字を超えるデータの戻りをサポートするようになりました。PPMは、そのようなデータをclob結果として渡し、エンドユーザーに文字データとして正しく表示します。</p>

デマンド管理

次の拡張機能がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>すべての必須フィールドを入力せずにリクエストを保存する</p>	<p>リクエストが送信されたら、後で使用するために保存をクリックして、すべての必須フィールドに入力せずにリクエストを保存できます。</p> <p>詳細については、後で使用するためにリクエストを保存を参照してください。</p>
------------------------------------	---

プログラム管理の機能強化

次の拡張機能がプログラム管理モジュールに追加されました。

<p>プログラムがコンテンツの合計予算よりも多くの予算をコンテンツから引き出すことができるかどうかを制御する</p>	<p>新しいオプションがプログラムタイプ設定ページ > 財務管理ポリシーに追加され、プログラムがコンテンツの合計予算を0未満に減らすために、コンテンツに負の予算額を設定します。</p> <p>予算アロケータは、利用可能な予算よりも多くの予算を引き出そうとするとプロンプトが表示されます。</p> <p>詳細については、予算作成戦略の選択および予算の割り当てを参照してください。</p>
--	---

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

<p>ポートフォリオ管理のランディングページとポートフォリオの詳細ページが刷新された</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ポートフォリオ管理のランディングページには、すべてのポートフォリオを一覧表示するための新しいタブ (すべてのポートフォリオ) が追加されています。[すべてのポートフォリオ] ページは、前の [ポートフォリオ階層の表示] ページに置き換わるものです。 • ポートフォリオ階層は、ポートフォリオ管理のすべてのページに表示されます。[すべてのポートフォリオ] ページ、[マイポートフォリオ] ページのテーブルビュー、およびポートフォリオの詳細ページの左側のペインです。 <p>詳細については、ポートフォリオ階層を参照してください。</p>
--	---

機能の切り替えの機能拡張

次の機能拡張が機能の切り替え領域に追加されました。

機能の切り替えの新しいステータス: 標準機能候補

PPMは、機能の切り替えに新しいステータスを導入しました。標準機能候補。

詳細については、[機能の切り替えを使用した機能のオン/オフ](#)を参照してください。

廃止

HIDE_COST_TAB_ON_PROJECT_PAGE

このパラメーターは、[プロジェクトの概要] ページの [コスト] タブの可用性を制御するために使用されていました。このリリース以降、廃止になりました。このパラメーターの設定は9.55へのアップグレード後に記憶され、プロジェクトマネージャは[プロジェクト設定] ページの **[コストタブを表示]** オプションを使用して、タブを表示するかどうかを制御できます。

詳細については、[プロジェクトの概要のレイアウトポリシー](#)を参照してください。

 参照:

- [PPM 9.54の新機能](#)
- [PPM 9.53の新機能](#)
- [PPM 9.52の新機能](#)
- [PPM 9.51の新機能](#)
- [PPM 9.50の新機能](#)

PPM 9.54の新機能

このセクションでは、PPM 9.54で導入または拡張された機能の概要を説明します。

チーム管理の更新

チーム管理は、監視チームにより良い視覚化を提供します。

チームのキャパシティとコストチャート

チームの**概要**タブを追加しました。これは、チームのキャパシティ (リソースの数)、チームのランニングコスト、チームの請求可能なコスト、および指定された期間のランニングコストと請求可能なコストを示す棒グラフを提供します。

詳細については、[チーム概要チャート](#)を参照してください。

チームヒートマップ

チームヒートマップタブを追加します。それはあなたのチーム/リソース計画のどこにギャップがあるかについての洞察を与えます。

- チーム/リソース、プロジェクト、およびロールの観点から、キャパシティ、デマンド、割り当て、およびそれらから派生したデータ (稼働率や達成率など)を確認するための包括的なビューを提供します。
- 稼働率と達成率を定義された色で視覚化します。
- チームマネージャーは、クリックするだけでデータを表示または非表示にする柔軟性が得られます。詳細については、[チームヒートマップ](#)を参照してください。

リソースプールを作成すると、チームが自動的に作成されます

新しいリソースプールを作成すると、同じ名前のチームを自動的に作成できます。詳細については、[リソースプールの作成](#)を参照してください。

PPMモバイルの新しいUI

PPMモバイルWebクライアントには新しいUIがあります。アプリのようなルックアンドフィールを提供し、構成可能なモバイルランディングページを提供し、人間工学的にユーザーエクスペリエンスを向上させます。

詳細については、[概要](#)を参照してください。

プラットフォームの機能拡張

プラットフォームモジュールに次の機能拡張が追加されました。

<p>PPMメニューをカスタマイズする新しい方法</p>	<p>PPMは、PPMメニューをカスタマイズする新しい方法を導入します。エンドユーザーがPPMメニューに導入された新機能を見逃さないようにし、PPMメニューにどのような変更が加えられたかを明示します。</p> <p>詳細については、メニュー項目のカスタマイズ (推奨)を参照してください。</p>
<p>管理コンソールからPPMサーバーをシャットダウン/再起動する</p>	<p>PPM管理者は、[管理コンソール]>[システムヘルス]>[ノード] ページから、PPMノードまたはPPMクラスター全体をシャットダウンまたは再起動できます。</p> <p>詳細については、管理コンソールからPPMをシャットダウンして再起動するを参照してください。</p>
<p>新しいREST APIを追加する</p>	<p>PPMは、次のアクション用のREST APIを導入しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • PPMキャッシュをフラッシュする • PPMサーバーをシャットダウンして再起動する <p>詳細については、インタラクティブREST APIヘルプを参照してください。</p>

エンタープライズアジャイルアップデート

JIRA-PPMリクエスト統合は、より多くのフィールドタイプマッピングをサポートします

JIRA-PPMリクエスト統合により、2つのサイド間でより多くのタイプのフィールドのデータ同期がサポートされるようになりました。

詳細については、[サポートされているPPM-JIRAフィールドタイプのマッピング](#)を参照してください。

機能の切り替えの機能拡張

PPMは、[管理コンソール>機能の切り替え](#)で機能の成熟度のステータスをラベル付けして示します。

詳細については、[機能の切り替えを使用して機能をオン/オフする](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

次の機能拡張がポートフォリオ管理モジュールに追加されました。

チャートビューにビジネスゴールの詳細を表示する

ポートフォリオの [\[戦略\]](#) タブ > [\[ビジネスゴール\]](#) セクションで、ビジネスゴールのタイトルをクリックしたときに、チャートビューにビジネスゴールを表示すると、ページの右側にビジネスゴールの詳細が表示されます。

詳細については、[ビジネスゴールのパフォーマンスの追跡](#)を参照してください。

What-if分析の機能拡張

次の機能拡張がWhat-if分析に追加されました。

what-ifシナリオページで保存されていない変更をすべて破棄	what-ifシナリオページの変更の破棄 ボタンをクリックして、行ったが保存されていないすべての変更をキャンセルします。
KPI予測でKPIタイプを表示する	KPI予測チャート は、KPI値のコンテキストを提供するためにY軸にKPIタイプを示します。 詳細については、 KPI予測 を参照してください。

ダッシュボードの機能拡張

ダッシュボードモジュールには、次の機能拡張が追加されています。

<p>Builderリストポートレットの複数列の並べ替えをサポート</p>	<p>9.53では、プロジェクトリストポートレット、リクエストリストポートレット、およびリソースプールリストポートレットの複数列の並べ替えがサポートされています。</p> <p>9.54では、サポートはビルダーリストポートレットに拡張されています。</p>
<p>レポートデータベースに対してポートレットデータソースクエリを実行</p>	<p>ポートレットデータソースを作成または更新するときに、レポートデータベースに対してポートレットデータソースクエリを実行するかどうかを決定できます。</p> <p>詳細については、レポートDBの使用を参照してください。</p>

デマンド管理の機能拡張

以下の機能拡張がデマンド管理モジュールに追加されました。

<p>リクエストの詳細の最初の編集可能なフィールドにオートフォーカスを設定</p>	<p>リクエストの編集を容易にするために、PPMは[リクエストの詳細] ページの最初の編集可能なフィールドにカーソルを自動的にフォーカスします。</p> <p>PPM管理者は、<code>FOCUS_ON_FIRST_EDITABLE_FIELD_IN_REQUEST_DETAILS</code>パラメーターを使用してオートフォーカスを無効にできます。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>[リクエスト検索結果] ページのリンクとして、スタッフィングプロファイルと財務サマリーを提示する</p>	<p>提案、プロジェクト、および資産要求の高度な検索で [スタッフィングプロファイル] 列と [財務サマリー] 列を表示することを選択した場合、両方の列がブレンデドテキストではなくリンクとして表示されます。</p>

プログラム管理の機能拡張

プログラム管理モジュールに次の機能拡張が追加されました。

「プログラム名が次の文字列を含む:」でプログラムを検索する

プログラムの検索ページで、「プログラム名は次の文字列で始まる」フィルターは「プログラム名が次の文字列を含む:」フィルターに置き換えられました。

そのため、プログラムを検索するには、プログラム名で始まるキーワードの代わりに、「@」の後にプログラム名に含まれるキーワードを入力することもできます。

リソース管理の機能拡張

以下の機能拡張がリソース管理モジュールに追加されました。

特定の期間内に作成または更新されたリソースを検索する	[リソースの検索] ページで、 作成日 および 最終更新日 フィルターを使用して、指定された期間内に作成または更新されたリソースを検索します。
過去の未処理のリソースリクエストを非表示にする	リソースプールページの 過去の未処理のリソースリクエストを非表示にする オプションをクリックして、デマンド終了日が現在の日付より前のポジションからリソースリクエストを非表示にします。 詳細については、 リソースリクエストの収集 を参照してください。
スタッフィングプロファイルのポジションとロールの列をオートフィルする	ポジションの [必要な特定リソース] 列に入力すると、[ポジション] 列と [ロール] 列にリソースのロールが自動的に入力されます。 詳細については、 要求された特定のリソース を参照してください。
リソースプールリストポートレットに有効なリソースプールのみを表示する	ポートレット参照で 有効なリソースプールのみ フィルターを選択して、リソースプールリストポートレットで有効なリソースプールのみを表示します。

時間管理の機能拡張

次の機能拡張が時間管理モジュールに追加されました。

リソースの開始日より前の日付の時刻を入力しないようにする	PPM管理者がパラメーター DISABLE_DATES_BEFORE_RESOURCE_START_DATE_IN_TSをtrueに設定した場合、時間の送信者は開始日より前の日付に時間を記録できません。 詳細については、 作業項目の時間の入力 を参照してください。
マイアイテムと推奨項目にプロジェクトとプログラムのリクエストIDを追加	タイムシートのマイアイテムと推奨項目にプロジェクトとプログラムが出現するたびに、リクエストIDの後にプロジェクト名とプログラム名が続きます。
独自の代理人を設定する	PPM管理者がパラメーター ENABLE_ADD_DELEGATE_FOR_ONESSELFをtrueに設定した場合、[すべてのリソースの編集] アクセス許可があるかどうかに関係なく、自分で委任を設定できます。 詳細については、 リソースの委任の設定 を参照してください。

財務管理の機能拡張

次の機能拡張が財務管理モジュールに追加されました。

財務データテーブルのページタイトルに親エンティティ情報を追加

提案とプロジェクトの財務データテーブルのページ上部に、親エンティティの名前が含まれるようになりました。

ヘルプセンターの改善

PPMヘルプセンターは、[Get Started: はじめに] メニューの下に新しいトピック「What's Changed: 変更点」を追加しました。以前のバージョンとは異なる領域を強調しています。これらの領域は、アップグレードする前に確認が必要です。

詳細については、[PPM 9.54の変更点](#)を参照してください。

プロジェクト参加者とのチャットを開始

プロジェクトマネージャーや作成者などのユーザーフィールドには、フィールドで指定されたユーザーの横にインスタントメッセージアイコンを追加できます。アイコンをクリックすると、チャットウィンドウでユーザーとの会話を開始できます。

インスタントメッセージアイコンは、PPM管理者が「ユーザーフィールドのインスタントメッセージアイコンを表示する」機能をオンにした場合にのみ表示されます。アイコンは、リクエストの詳細ページ、プロジェクトの概要ページ、およびダッシュボードの読み取り専用および単一値のユーザーフィールドで使用できます。

 参照:

- [PPM 9.53の新機能](#)
- [PPM 9.52の新機能](#)
- [PPM 9.51の新機能](#)
- [PPM 9.50の新機能](#)

PPM 9.53の新機能

このセクションでは、PPM 9.53で導入または拡張された機能の概要を説明します。

チーム管理の更新

PPM 9.53では、チーム管理を次のように機能拡張しました。これらは、[スタッフィングプロファイル内のチーム管理とチーム割り当て]が有効になっている場合にのみ使用できます。

チームをセットアップする際の柔軟性を高める

- リソースプールからチームを作成する
- チームタイプとチームの専門分野を定義する
- チームのキャパシティを管理する

詳細については、[チームのセットアップ](#)を参照してください。

チームコストルールによって計算されたチームコストを表示する

- チームのコストルールを管理する
- チームコストルールによるチームアサインコストを計算する

詳細については、[スタッフィングプロファイルからの予測人件費の表示](#)を参照してください。

チームモニタリングの使いやすさの向上

- 戦略的なテーマの色でチームのアサインパイプラインを強調する
- イニシアチブの詳細に簡単にドリルダウン
- チームのアサインをフィルタリングする

詳細については、[チームの監視](#)を参照してください。

機能管理

管理者が機能を有効または無効にするための機能管理プラットフォームと、そのサブ機能がある場合はそのサブ機能を紹介します。

[管理コンソール](#)>[管理タスク](#)>[機能管理](#)からアクセスできます。

スタッフィングプロファイルからの予測人件費を表示

イニシアチブマネージャーは、スタッフィングプロファイルのコストビュー内から予測される人件費の詳細を直接確認できます。

これにより、デマンドとアサインを計画し、中央の場所で同時にコストを表示できます。

詳細については、[スタッフィングプロファイルからの予測人件費の表示](#)を参照してください。

エンタープライズアジャイルアップデート

外部タスクに時間を記録する

ハイブリッドプロジェクトにより、時間管理がタスクまたはサマリータスクレベルで実績を追跡できるようになると、タスク所有者として、外部タスクをタイムシートに直接追加して、アジャイル作業をログに記録できます。

詳細については、[タイムシートでの作業項目の管理](#)を参照してください。

PPMで外部タスクの実績データを制御する

外部タスクのロギング時間の結果として、外部タスクの実績データはPPMで制御されます。外部作業計画同期サービスは、外部タスクのスケジュールされた情報をアジャイルからPPMにインポートし、PM-TM同期サービスは外部タスクの実際の情報をタイムシートデータで更新します。

詳細については、[アジャイルデータのPPMへの同期](#)を参照してください。

外部タスクのコストを資産計上する

[アクティビティ]列は、外部タスク用に編集可能になります。プロジェクトマネージャーとして、外部タスクのコストを資産計上したい場合は、資産計上されたアクティビティを外部タスクに関連付けることができます。

ダッシュボードの機能拡張

ポートレットデータを複数の列で並べ替える

ポートレットは、主に最後にクリックされた列、最後に1つだけの列、というように並べ替えられ、最後にポートレット設定の[並べ替え]オプションの設定によって並べ替えられます。

注記: この拡張機能は、現在、要求リストポートレット、プロジェクトリストポートレット、およびリソースプールリストポートレットでのみ使用できます。

デマンド管理の機能拡張

特定の期間内に作成または更新されたリクエストをフィルタリングする

[リクエストの検索] ページから、フィルター作成日が次の期間以内: または最終更新日が次の期間以内: を使用して特定の期間内に作成または更新されたリクエストをフィルタリングできます。

ドキュメント管理の機能拡張

[参照] セクションの添付ファイルを特定の列で並べ替える

パラメーターATTACHMENT_SORT_COLUMNを使用して、[参照] セクションの添付ファイルを昇順で並べ替える列を指定できます。

詳細については、[サーバーパラメーター](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

機能拡張	詳細
チームに固有のコスト要因を追加する	チーム管理とチームアサインメントに反響して、PPMはチームに固有のコスト要因を追加してチームコストを計算します。 これらの要因は、チーム、チームタイプ、およびチームの専門分野です。
コストルールの検索結果のリソースのツールチップとしてユーザー名を追加する	同じフルネームのリソースを指定するコストルールを区別しやすくするために、PPMは、コストルールの検索結果でリソースのツールチップとしてユーザー名を提供します。
コストとメリットを編集するときに、現地通貨と基本通貨を切り替える	エンティティの現地通貨がシステムの基本通貨と異なる場合は、コストと利益を編集するときに現地通貨と基本通貨を切り替えることができます。

<p>財務サマリー関連ページを編集するときに財務概要をロックする</p>	<ul style="list-style-type: none"> 財務サマリーで予測または実績のコストまたはベネフィットを編集すると、他のユーザーまたはバックグラウンドサービスが変更を行わないように、コストとベネフィットがロックされます。 <p>詳細については、財務概要のロックコスト/メリットを参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 提案またはアセットの財務サマリー設定を編集する場合、設定への変更を正常に保存するまで、財務サマリーはロックされません。
--------------------------------------	--

プラットフォームの機能拡張

単一言語オプティマイザーを実行して、システムのパフォーマンスを向上

英語のみを使用し、環境に言語パックをデプロイしない場合は、単一言語オプティマイザーを実行して、システムから不要なロジックを取り除き、パフォーマンスを向上させることができます。

詳細については、[kSingleLanOptimize.sh](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

機能拡張	詳細
<p>ポートフォリオ内のイニシアチブの上限を定義する</p>	<p>パラメーターPORTFOLIO_MAX_PPA_INITIATIVESを使用して、ポートフォリオに含めることができるイニシアチブ(提案、プロジェクト、アセット)の最大数を定義できます。</p> <p>デフォルト値は1000です。</p> <p>注記: デフォルト値を増やす場合は、パフォーマンスに影響を与える可能性があるため、注意が必要です。</p>
<p>what-if分析に戦略調整円グラフを追加する</p>	<p>戦略テーマごとの予測コストと戦略テーマごとのリソースデマンドの円グラフは、what-if分析に追加されます。</p> <p>詳細については、戦略的調整を参照してください。</p>

戦略的テーマの色を設定する	<p>ポートフォリオ戦略テーマの色を選択できます。</p> <p>戦略的なテーマが使用される場合は常に、その色が使用されます。</p>
1つのビジネスゴールを1つの戦略的テーマに合わせる	<p>1つのビジネスゴールを1つの戦略的テーマに合わせると、戦略的テーマごとにビジネスゴールをグループ化できます。</p> <p>詳細については、ビジネスゴールの追加およびPPMの相対KPIの選択を参照してください。</p>
what-if分析でKPI予測チャートを改善する	<ul style="list-style-type: none"> ● ビジネスゴールの目標値と目標日を表示します。 ● ツールチップを改善する ● 負のKPIインパクトの値のレイアウトを改善します。 ● 凡例の色をクリックして、グラフのイニシアチブを切り替えます。 <p>詳細については、KPI予測を参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

プログラム概要ページのプログラムタイトルにプログラムタイプ名を表示する

プログラム設定 > プログラムの概要のレイアウトで、オプションプログラムタイプ名を [プログラムの概要] ページのタイトルとして使用するを選択した場合、プログラムタイトルは<プログラムタイプ名>: <プログラム名>として表示されます。

詳細については、[プログラムの概要のレイアウトポリシー](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

機能拡張	詳細
<p>スケジュール開始日は、デフォルトで、プロジェクトが計画ステータスにあるときにプロジェクトの開始日を表示します</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトが計画ステータスの場合、[作業計画のスケジュール] ウィンドウのスケジュール開始日フィールドに、プロジェクトの計画開始期間の初日が表示されます。 ● プロジェクトがアクティブな状態の場合、スケジュール開始日フィールドには、最後のスケジュールで設定された日付が表示されます。

<p>実際の作業を追跡するためのタイムシートを持つタスクに必要なアクティビティを作成する</p>	<p>コストを活用するためにアクティビティが常に定義されていることを確認するために、実際の作業を追跡するタイムシートを持つタスクに必要なアクティビティフィールドを作成するようにプロジェクトを構成できます。</p> <p>詳細については、時間管理設定を参照してください。</p>
<p>作業計画のデフォルト列の指定は、タスクのユーザーデータをサポート</p>	<p>パラメーターWORK_PLAN_DEFAULT_COLUMNSは、作業計画を初めて表示または作成するときにデフォルトの列を指定するために使用されます。これで、このパラメーターを使用して、ユーザーデータトークン値を追加することにより、デフォルトのタスクユーザーデータフィールドを指定することもできます。</p> <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>

時間管理の機能拡張

すべてのタイムシートを表示および編集するための新しいアクセス許可を追加します

- **すべてのタイムシートを編集権限**を使用すると、システム内の任意のタイムシートを表示および編集できます。それはあなたがすべての時間の提出者の代表としてアサインされることからあなたを解放します。
- **すべてのタイムシートを表示権限**により、システム内の任意のタイムシートを表示できます。これにより、すべてのタイムシートの時間の承認者または請求の承認者としてアサインされる必要がなくなります。

 参照:

- [PPM 9.52の新機能](#)
- [PPM 9.51の新機能](#)
- [PPM 9.50の新機能](#)

PPM 9.52の新機能

このセクションでは、PPM 9.52で導入または拡張された機能の概要を説明します。

チーム管理

アジャイル開発の実践では、作業は通常、1人ではなくアジャイルチームにアサインされます。次に、チームリーダーは、チームメンバーにタスクを分散します。PPM 9.52では、要件を満たすためにチーム管理が導入されています。

チーム管理を使用すると、チームマネージャーとして次のことができます。

チームを作成する

チームを作成すると、同じ名前の対応するリソースプールが自動的に作成されます。

チームにサブチームとリソースを追加する	チームには、チーム階層を構築するサブチームとリソースを含めることができます。
チームをスタッフリングプロジェクトファイルのポジションにアサインする	チームにポジションをアサインし、そのアサインをそのサブチームとリソースにカスケードすることができます。
チームの稼働率の詳細を表示する	<p>チームの詳細ページから、次のことがわかります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • チーム、その直接のサブチーム、およびその直接のリソースがアサインされる時期と場所。 • チーム、その直接のサブチーム、およびその直接のリソースにどれだけの労力がアサインされているか。 • チーム、その直接のサブチーム、および特定の月または指定された期間の直接のリソースの稼働率 (アサインされた作業/キャパシティ)。

詳細については、[チーム管理](#)を参照してください。

プロジェクト管理の機能拡張

プロジェクト管理は、より良いプロジェクト計画のために主に作業計画で機能拡張されています。

機能拡張	詳細
Excelから作業計画をアップロードする	<p>パラメーターENABLE_IMPORT_EXPORT_EXCEL_IN_WORK_PLANがtrueに設定されている場合、作業計画をMicrosoft ExcelからPPMにアップロードできます。</p> <p>この機能は、作業計画のクイックビューでのみ使用できます。</p> <p>詳細については、Microsoft Excelからの作業計画のアップロードを参照してください。</p>
作業計画のクイックビューでアクティビティを追加および編集する	作業計画のクイックビューに[アクティビティ]列を追加し、列をインライン編集することができます。

<p>作業計画のデフォルトのビューと列を設定する</p>	<p>以前は、作業計画を初めて作成または表示するときに、作業計画はデフォルトでクイックビューで開かれていました。</p> <p>PPMは、作業計画を初めて作成または表示するときに、作業計画のデフォルトビューとそのビューのデフォルト列を指定するための2つのパラメーターを追加するようになりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WORK_PLAN_DEFAULT_VIEW: 作業計画を初めて作成または表示するときのデフォルトの作業計画ビューを指定します。 ● WORK_PLAN_DEFAULT_COLUMNS: 作業計画を初めて作成または表示するときに、WORK_PLAN_DEFAULT_VIEWパラメーターで定義されたビューのデフォルトの列を指定します。 <p>詳細については、サーバーパラメーターを参照してください。</p>
<p>サマリータスクの作業完了%列を追加</p>	<p>PPMは、作業計画クイックビューの要約タスク用に% 作業完了列を追加します。</p> <p>既存の達成率 (%)列とは異なり、タスク期間%作業で重み付けされたリーフタスクの完了%に基づいてサマリータスクの進行状況を計算します。達成率 (%)列は、リーフタスクの作業に基づいてサマリータスクの進行状況を計算します。</p>
<p>テンプレートのどのタスクを新しい作業計画にインポートするかを選択します</p>	<p>パラメーターENABLE_WORKPLAN_TAILOR_FROM_WORKPLAN_TEMPLATEがtrueに設定されている場合、テンプレートから作業計画を作成するときにテンプレート内のタスクが作業計画にインポートされます。</p> <p>詳細については、作業計画の作成を参照してください。</p>
<p>プロジェクトをExcelにエクスポートする</p>	<p>Excelにエクスポートアイコンがプロジェクトページの右上隅に表示されるようになりました。</p> <p>クリックすると、プロジェクトヘッダー情報、マイルストーン、問題、リスク、およびスコープの変更がエクスポートされます。</p>

<p>作業計画のベースラインの詳細を表示する</p>	<p>以前は、作業計画ベースラインを作成するときに、ベースラインリンクをクリックすると、[ベースラインプロパティの変更] ウィンドウが開きます。</p> <p>次に、リンクをクリックすると、作業計画のベースラインの詳細ページが開きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示ビューを変更できます。 列を追加できます。 すべての編集ボタンが無効になります。 すべてのタスクは編集できません。 <p>詳細については、作業計画ベースラインの作成を参照してください。</p>
----------------------------	--

リソース管理の拡張機能

機能拡張	詳細
<p>リソースの検索フィルターの「<空白>」値を追加します</p>	<p>[リソースの検索] ページで、値 "<空白>"が以下のフィルターに追加されます。ロール、部署、スキル、マネージャー、組織単位、場所、セキュリティグループ、時間の承認者、請求の承認者、タイトル、リソースプール、およびコストカテゴリ。</p> <p>「空白」の値は、対応する属性を定義しないリソースをフィルタリングします。</p>
<p>[予測デマンドの表示] ページに [完了] ボタンを追加します</p>	<p>[完了] ボタンが [リソースプール] >[予測デマンド] ページに追加されました。</p>
<p>過去にリソースが割り当てられただけのリソースプールを無視する</p>	<p>ポジションのリクエストされたリソースとしてリソースを追加すると、PPMはリソースの詳細に基づいてポジションの属性を自動的に入力します。リソースが異なる期間に異なるリソースプールに割り当てられている場合、PPMは、これらすべてのリソースプールを一覧表示して、ポジションに1つを選択できるようにします。</p> <p>ここで、パラメーターIGNORE_POOLS_WITH_ONLY_PAST_RESOURCE_PARTICIPATIONがtrueに設定されている場合、PPMは、将来リソースが割り当てられるリソースプールのみを一覧表示します。</p>

<p>[リソース負荷内訳 - アサイン詳細] ページのスタッフィングプロファイルのツールチップが利用可能</p>	<p>「リソース負荷内訳 - アサイン詳細」 ページのスタッフィングプロファイルプロファイルのツールチップには、スタッフィングプロファイルのフルネームが表示されます。</p>
<p>アクセス権限に基づいてユーザー情報を変更するためのリンクを提示</p>	<ul style="list-style-type: none"> • PPM Workbenchを開く権限がない場合、リソースの変更 > 一般ページにあるこのリソースのユーザー情報の変更 (ワークベンチ) リンクは表示されません。 • ユーザー管理コンソールを開くことができる場合は、リンクこのリソースのユーザー情報の変更 (ユーザー管理コンソール)は、リソースの変更 > 一般ページで利用可能です。このリンクをクリックすると、ユーザー管理コンソールのリソース詳細ページに移動します。
<p>プロジェクト管理ライセンスを持つ非プロジェクトマネージャーがスタッフィングプロファイルのポジションにリソースをアサインする</p>	<p>リソースマネージャーの場合、次の要件が満たされている限り、スタッフィングプロファイルのリソースを、リソースプールの属性が設定されているポジションにアサインできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 「リクエストされていない読み取り専用ポジションにリソースを割り当て」る権限を持ち、プロジェクト管理ライセンスがある。 • スタッフィングプロファイルを表示できる。 <p>つまり:</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロジェクトマネージャーがリソースをアサインするためにリソースプールからリソースをリクエストするまで待つ必要はありません。 • スタッフィングプロファイルを編集できない場合でも、スタッフィングプロファイルでリソースをアサインできます。

時間管理の機能拡張

プロジェクト番号でプロジェクトをタイムシートに追加

タイムシートにプロジェクトを追加するとき、プロジェクト番号でプロジェクトを検索できます。

タイムシートへのマイルストーンの追加を制限する

パラメーターALLOW_LOG_TIME_ON_MILESTONESがfalseに設定されている場合、タイムサブミッターはタイムシートにマイルストーンタスクを追加できません。

このパラメーターは、タイムサブミッターがタイムシートまたはマイアイテムに新しいマイルストーンを追加できないようにするだけです。推奨項目にある、またはパラメーターを無効にする前に既にマイアイテムに追加されているマイルストーンタスクの場合、時間送信者は引き続きそれらに時間を記録できます。

プラットフォームの機能拡張

Web UIからリスト検証値を編集する

Excelの [リストの検証値の編集] ページから、リスト検証をExcelとしてダウンロードし、Excelでリスト検証を編集し、ExcelをPPMにアップロードして次の操作を実行できます。

- リスト検証値を編集します。
- リスト検証値の翻訳を追加します。
- リスト検証値の既存の翻訳を更新します。

ページにアクセスするには、構成ライセンスと検証値の編集権限が必要です。

詳細については、[Web UIからのリスト検証値の編集](#)を参照してください。

安全なファイルアップロードメカニズム

PPM 9.52以降、パラメーターDMS_SECURE_FILE_EXTENSIONS_WHITE_LISTを使用して、PPMにアップロードできるファイルの種類を明示的に指定する必要があります。そうしないと、PPMは、指定しないファイルに潜在的なセキュリティリスクがあると見なし、アップロードを禁止します。

このパラメーターのデフォルト値は次のとおりです:txt、doc、docx、gif、pdf、png、ppt、pptx、pps、ppsx、psd、wav、wmv、xls、xlsx、ico、jpeg、jpg、m4 a、mov、mp3、mp4、m4v、mpg、odt、ogg、ogv、3g2、3gp、avi

タイムシートで長い検索を行う場合は、「進行中」のインジケータを表示します

タイムシートに追加する作業項目の検索に時間がかかる場合、アクティビティを示す「進行中の」アニメーションが表示されます。

AWSサポート

本番環境のAWSでのPPMのインストールと実行をサポートします。

統合の強化

PPM-Octane リクエストの統合は、より多くのフィールドタイプと値のマッピングをサポートします

- PPMでは、ドロップダウンリスト、オートコンプリートリスト、およびテキスト領域のタイプのフィールドがサポートされています。同様に、タイプ: 参照およびメモのフィールドはALM Octaneでサポートされています。
- フィールドマッピングの両方のフィールドが値のリストである場合、値のマッピングが有効になります。

詳細については、[PPM内からのALM Octaneエンティティの管理](#)を参照してください。

PPM-Octane タイムシート統合はALM OctaneへのSSOアクセスをサポートします

OctaneからPPMタイムシートに時間をインポートする場合、PPMはALM OctaneへのSSOアクセスをサポートします。

What-if分析の機能拡張

what-if分析でポートフォリオ戦略データを確認する

ポートフォリオのシナリオでは、[戦略] タブに、ポートフォリオのビジネスゴールに関連付けられているすべてのKPIのグラフが表示されます。すべてのKPIチャートには、スコープ内の各ポートフォリオコンテンツの実際のKPI値とKPIの影響（つまり、予測されたKPI値）が表示されます。

詳細については、[戦略的計画](#)を参照してください。

デマンド管理の機能拡張

未使用のデータを削除する

kAdditionalPurgeTool.shを実行して、使用されていない次のデータをパージできます。

- リクエストまたはパッケージで使用されていないワークフロー。
- ワークフローステップで使用されていないステップソース。
- 検証は使用されません。
- リクエストタイプまたはワークフローによって参照または使用されていないセキュリティグループ。
- リクエストタイプまたはワークフローで参照または使用されていないリクエストステータス。

詳細については、[kAdditionalPurgeTool.sh](#)を参照してください。

リクエストタイプごとのユーザーごとのテーブルコンポーネントフィールドの列幅の記録を保持します

リクエストのテーブルコンポーネントフィールドの列幅のサイズを変更すると、次に同じリクエストタイプのリクエストを開いたときに、列幅が残ります。

PPMは、要求タイプごとのユーザーごとのテーブルコンポーネントフィールドの列幅の記録を保持します。

テーブルコンポーネントフィールドのメモ履歴には、すべての変更が含まれます

新しい行の追加、行の削除、行セルの変更など、テーブルコンポーネントのフィールドの変更はすべて、リクエストノートに記録されます。

詳細については、[\[リクエスト詳細\] ページ: メモセクション](#)を参照してください。

財務管理の機能拡張

財務サマリースナップショットの行の順序は、コストカテゴリが同じである場合の財務サマリーの行の順序と同じです。

ダッシュボードの機能拡張

積み上げ面グラフのポートレットをサポート

ダッシュボードポートレットの折れ線グラフのサブタイプとして、新しいグラフタイプ (積み上げ面グラフ) をサポートしています。既存の折れ線グラフを積み上げ面グラフとして表示し、積み上げ面グラフポートレットを作成できます。

積み上げ面グラフポートレットの作成の詳細については、[積み上げ面グラフポートレット](#)を参照してください。

チャートポートレット項目を強調表示する

チャートポートレット項目の上にマウスを置くと、そのアイテムが強調表示されます。

リストポートレットの「詳細」アイコンから「Excelにエクスポート」アイコンを離します

リストポートレットをExcelにエクスポートするには、ポートレットヘッダーの [Excelにエクスポート] アイコンを直接クリックします。[詳細] > [Excelにエクスポート] アイコンをクリックする必要はありません。

APMの機能拡張

APMメニューをPPMにマージします

APMメニューはPPMにマージされます。PPMにAPMを使用するには、パラメーターAPM_ENABLEDをtrueに設定し、APMバンドルを展開する必要があります。次の場合は、APMバンドルをデプロイする必要はありません。

- 以前にAPMバンドルをインストールしたことがある。
- 既存のバンドルと新しいバンドルの間でデータベース化に違いがない。

注記: APM for PPM 9.52がデータベースに変更を加えたため、バンドルを展開する必要があります。

MLU

9.42から9.52に追加されたラベルにアラビア語の翻訳が補足されました。

 参照:

- [PPM 9.51の新機能](#)
- [PPM 9.50の新機能](#)

PPM 9.51の新機能

このセクションでは、PPM 9.51で導入または拡張された機能の概要を説明します。

ポートレットの機能拡張

ポートレットのユーザーエクスペリエンスが見直されました。

- デフォルトでは、主要な凡例のみが表示されるようになりました。凡例のカテゴリを多くも少なくとも表示できます。
 - ポートレットは、画面サイズに合わせて自動的にサイズ変更されます。
 - プレビューページがすべての印刷操作で表示されるようになりました。
- これらの変更は、バブルチャートとガントチャートを除くすべてのチャートタイプに適用されます。

OpenJDK for Workbenchをサポートする

WindowsクライアントでOpenJDKをサポートするために、「Workbenchアプリ」を開発しました。Workbenchアプリは、コンピューターにインストールする必要があるデスクトップアプリケーションです。アプリは、PPMWebページまたはインストールフォルダーから開くことができます。

Workbenchアプリケーションをインストールするには:

1. [開く]> [管理]> [Workbench]> [Workbenchアプリを開く]を選択します。
2. このページで、ダウンロードリンクをクリックし、Workbenchバンドルをコンピューターに保存します。
3. ダウンロードしたzipファイルを解凍します。
4. install.batをダブルクリックしてWorkbenchを登録します。

インストールされたフォルダから**Workbench**アプリケーションを開くには:

1. Startup.batをダブルクリックします。
2. PPM URLとユーザー資格情報を入力します。

PPM Webページから**Workbench**アプリケーションを開くには:

1. [開く]>[管理]>[Workbench]>[Workbenchアプリを開く]を選択します。
2. ブラウザーのプロンプトを受け入れて、次回Workbenchをスムーズに開きます。

注記: SSOが有効になっている場合は、WorkbenchのURLをSSOの保護から除外します。

http://<PPM_Base_URL>/itg/wbservices

OIDC SSO

OIDC認証コードフローと暗黙フローがサポートされています。

OIDCの詳細については、<https://openid.net/connect/>にアクセスしてください。

PPMを使用して**OIDC SSO**を設定するには:

1. パラメーターを使用して、OpenIDプロバイダー (OP) のリレーパーティ (RP) としてPPMを登録します。

コールバックURI: <PPM_BASE_URL>/itg/web/sso/oidc_callback.jsp

ログアウト後のURI: <PPM_BASE_URL>/itg/web/sso/loggedout.jsp

oAuthクライアントキーとoAuthクライアントシークレットを覚えておいてください

2. PPM server.confファイルを次のように編集します。

追加または変更

```
com.kintana.core.server.SINGLE_SIGN_ON_PLUGIN=com.kintana.sc.security.auth.OIDCSingleSignOn
```

3. <PPM_HOME>/integration/sso/oidc_sso.confを編集します。

a. discovery_file =<OPメタデータファイルへのパス>またはdiscovery_uri =<OPメタデータファイルのURI>を追加します

b. client_id =<oAuth Client Key for PPM>を追加します

c. PPMがOPに直接アクセスできない場合は、proxy =<proxy_dnsまたはproxy_ip>:<proxy_port>プロキシを構成します。

d. OPがhttpsに自己署名証明書を使用する場合は、disable_ssl=trueを追加します。

このオプションは、開発環境またはテスト環境でのみ使用してください。実稼働環境では絶対に使用しないでください。

4. PPMユーザーインスタンスを再起動します。

トラブルシューティング

- SSOのトラブルシューティングを行うには、<ppm_server>/log/serverLog.txtファイルを確認してください。
- デバッグ情報の詳細については、<PPM_HOME>/conf/logging.confを参照してください。

```
Set com.kintana.core.logging.SYSTEM_THRESHOLD = DEBUG
```

```
Add com.kintana.core.logging.PRODUCT_FUNCTION_LOGGING_LEVEL =  
com.kintana.sc.authentication、DEBUG
```

高度な構成

oidc_sso.confファイルのRPメタデータのデフォルト設定またはパラメーターを上書きできます。

discovery_fileまたは**discovery_uri**のOPメタデータをオーバーライドします (上記を参照)。

パラメーター名	説明
issuer	OpenIDプロバイダーの発行者識別子。
authentication_endpoint	承認エンドポイントは、リソース所有者がログインし、クライアントアプリケーションに承認を付与する承認サーバー上のエンドポイントです。
token_endpoint	トークンエンドポイントは、クライアントアプリケーションが認証コード、クライアントID、およびクライアントシークレットをIDトークンと交換する認証サーバー上のエンドポイントです。
jwks_uri	Jwks_uriは、JSON Web署名に使用されるJSON Webキー (JWK) のJSONArrayを含むOpenID Connect Identity Provider (IDP) のJWKセットのURIとして表されるメタデータエントリです。 空の場合、idトークンの署名は検証されません。
end_session_endpoint	セッション終了エンドポイントを使用して、シングルサインアウトをトリガーできます。 空の場合、サインアウトは無効になります。

デフォルト設定を上書きします。

パラメーター名	説明
flow	許可される値: 承認コードまたは暗黙的 デフォルト値: PPMは、最も適切なフローを自動的に選択します。

audience	OPによって発行されたIDトークンのオーディエンス。 デフォルト値: aPPMアプリケーションの認証クライアントID。
user_id_claim	PPMのユーザーIDに使用されるIDトークンのクレーム。 デフォルト値: sub
leeway	IDトークンが引き続き有効であると見なされる余裕のあるウィンドウを指定します。 デフォルト値: 0
post_logout_redirect_uri	OPが正常にログアウトした後のリダイレクトURI デフォルト値: <PPM_BASE_URL>/itg/sso/loggedout.jsp
token_endpoint_auth_method	クライアントアプリケーション (PPM) が認証コード、クライアントID、およびクライアントシークレットを、OPトークンエンドポイントからのIDトークンと交換するときの認証方法。 許可される値: client_secret_basicまたはclient_secret_post デフォルト値: client_secret_basic

制限事項

- AUTHORIZATION CODEフローまたはIMPLICITフローのみがサポートされています。
- token_endpoint_auth_methodは、client_secret_basicまたはclient_secret_postのいずれかになります。

 参照:

- [PPM 9.50の新機能](#)

PPM 9.50の新機能

このセクションでは、PPM 9.50で導入または拡張された機能の概要を説明します。

What-if分析

What-if分析は、さまざまなシナリオをプラグインしてさまざまな投資計画を調査および比較し、変化する条件に基づいて代替案をスケジュールするためのシミュレーションツールです。PPMは、ポートフォリオとプログラムにこのツールを導入します。これは、ポートフォリオおよびプログラムマネージャーが、組織のビジネス価値を最大化するために、次の会計期間に何を投資するかをより適切に決定するのに役立ちます。

詳細については、[What-if分析](#)を参照してください。

エンタープライズアジャイルアップデート

PPMは、新しい統合を追加し、アジャイルコネクタの既存の統合を強化します。

PPMリクエストをアジャイルエンティティに同期する

PPMリクエストタイプが、機能やユーザーストーリーなどのエンティティタイプ、およびアジャイルツールのアジャイルプロジェクトにマッピングされている場合:

- リクエストタイプのリクエストを作成してPPMの特定のワークフローステップに移動すると、アジャイルツールのマップされたプロジェクトにマップされたエンティティが自動的に作成されます。
- リクエストまたはアジャイルエンティティの変更は、PPMとアジャイルツールの間で同期されます。

現在、すぐに使用できるALM OctaneおよびJIRAコネクタは、このような統合をサポートしています。

詳細については、[PPM内からのALM Octaneエンティティの作成およびPPM内からのJIRAエンティティの管理](#)を参照してください。

ALM OctaneおよびJIRAコネクタを改善する

データの正確性と柔軟性を確保するために、作業計画の統合とタイムシートの統合のために、ALM OctaneおよびJIRAコネクタにさらに多くのオプションが追加されています。

詳細については、[PPMタスクとJIRAプロジェクトの統合およびJIRAからPPMへの作業のインポートタイムシート](#)を参照してください。

外部タスクからの実際の労力と実際のコストをロールアップするかどうかを制御します

プロジェクトタスクが別のプロジェクトにリンクされ、それがリンクされたタスクの外部タスクになる場合、外部タスクの実際の労力と実際のコストは、リンクされたタスクにロールアップされていました。これで、プロジェクト管理者は、実際の労力と実際のコストを外部タスクからリンクされたタスクにロールアップしないことを選択できます。

詳細については、[ハイブリッドプロジェクトポリシー](#)を参照してください。

タスク、サマリータスク、またはプロジェクトレベルでハイブリッドプロジェクト時間を追跡する

プロジェクトがハイブリッドプロジェクトとして設定されている場合、時間は、タスクレベルのみではなく、任意のレベル(タスクレベル、サマリータスクレベル、またはプロジェクトレベル)で追跡できるようになりました。

リンクされたタスクに対するロギング時間をサポートする

ハイブリッドプロジェクトが時間管理を使用してサマリータスクレベルで時間を追跡する場合、プロジェクト内のリンクされたタスクをタイムシートに追加できます。PPMは、リンクされたタスクに対するロギング時間をサポートします。

タイムシートの外部データをPPM作業項目に転送する

1つの外部データラインの1つのPPM作業項目への転送時間。外部データ行がタイムシートから削除され、PPM作業項目がタイムシートに追加され、外部データ行の作業が作業項目に追加されます。

詳細については、[外部データのPPM作業項目への転送](#)を参照してください。

タイムシートの外部データを非外部データにマージします

複数の外部データラインの時間をタイムシートの1つの非外部データ明細にマージします。外部データラインはタイムシートから削除され、それらの作業は非外部データ明細に追加されます。

詳細については、[非外部データを非外部データ明細にマージする](#)を参照してください。

ポートフォリオ管理の機能拡張

価値主導型ポートフォリオ管理は、ポートフォリオの価値をその内容に結び付けるためにさらに一歩進んでいます。

<p>戦略テーマを管理する</p>	<p>PPM 9.50は、価値主導型ポートフォリオ管理に戦略テーマを導入しています。戦略テーマは、ポートフォリオのビジョンをエンタープライズビジネス戦略に結び付け、次にポートフォリオの内容に結び付けます。</p> <p>詳細については、戦略的テーマの定義を参照してください。</p>
<p>ビジネスゴールを共有KPIまたはプライベートKPIのいずれかに関連付けます</p>	<p>KPIは、以前はすべてのポートフォリオビジネスゴールで共有されていました。これで、ポートフォリオのビジネスゴールを追加するときに、ポートフォリオマネージャーはビジネスゴール専用のプライベートKPIを作成できます。ポートフォリオマネージャーは、ビジネスゴールを共有KPIまたはプライベートKPIに関連付けることができます。</p> <p>詳細については、ビジネスゴールの追加を参照してください。</p>
<p>ポートフォリオのマイルストーンを追加する</p>	<p>ポートフォリオマネージャーは、ポートフォリオタイムラインタブにポートフォリオのマイルストーンを追加できます。</p> <p>詳細については、ポートフォリオマイルストーンの追加を参照してください。</p>

プログラム管理の機能拡張

<p>プログラムのセキュリティチェックを改善する</p>	<ul style="list-style-type: none"> プログラムのセキュリティチェックでは、プログラムの参加者が考慮されるようになりました。 プログラムのセキュリティ設定は、プログラムの [アクセスの設定] ページで行われていました。これでページが削除され、プログラムのセキュリティ設定が [プログラム設定] ページにポリシーとして追加されます。 <p>詳細については、プログラムセキュリティポリシーを参照してください。</p>
-------------------------------------	--

会計年度あたりのプログラムコストを表示	フィルター 財務情報 を表示する会計年がプログラムコストタブで利用できるようになりました。これにより、プログラマナーは、プログラムコストとプログラムコンテンツのコストデータを会計年度ごとにフィルタリングできます。
---------------------	---

プロジェクト管理の機能拡張

実績作業計画を削除する	システム管理者がパラメーターALLOW_DELETE_WORK_PLAN_WITH_ACTUALSをtrueに設定すると、プロジェクトマネージャーは実際のプロジェクト作業計画を、最初の実績を手動で削除せずに削除できます。 詳細については、 作業計画の削除 を参照してください。
タスクのロールごとにタスクコストを計算する	PPMは、タスクのコストを計算するときに、コスト係数「ロール」にリソースのロールを使用するために使用されていました。システム管理者がパラメーターUSE_ROLE_OF_TASK_FOR_WP_COSTSをtrueに設定した場合、タスクロールが定義されていない限り、PPMはコスト要因「ロール」にタスクロールを使用します。 詳細については、 コスト要因の適用 を参照してください。

リソース管理の機能拡張

期間制限を20から40に増やします	アサインの負荷の分析ポートレットおよびリソースプールの分析ポートレットは、過去および将来の20期間のデータをフィルタリングできるようにするために使用されていました。これで、期間制限が40に引き上げられました。
タスクリソースを名前のアルファベット順にソートする	タスクにアサインされたリソースは、タスクの詳細ページの [リソース] タブでリソース名のアルファベット順に並べ替えられるようになりました。プロジェクトマネージャーは、タスクに関する特定のリソースを簡単に見つけることができます。

デマンド管理の機能拡張

<p>リクエストをPDFにエクスポート</p>	<p>リクエストをPDFにエクスポートするには、リクエストの詳細ページで、詳細 > PDFをクリックします。</p> <p>この機能をオフにするには、パラメーター <code>ENABLE_REQUEST_EXPORT_TO_PDF</code> を <code>false</code> に設定します。</p>
<p>クイック編集モードでテキストフィールドを拡大</p>	<p>検証「テキスト領域- 1800」を使用するテキストフィールドは、クイック編集モードで拡大され、モードでの更新要求をよりユーザーフレンドリーにします。</p>

ユーザー認証の機能拡張

一般的なSSO環境では、PPMサーバーはHTTPヘッダーからのみユーザー名情報を受信するために使用されました。sso.confファイルでパラメーターLOCATIONを設定する方法に応じて、HTTPリクエスト属性とREMOTE_USER CGI環境変数からのユーザー名情報の取得もサポートするようになりました。

詳細については、[PPMを使用した汎用シングルサインオン実装](#)を参照してください。

PPMレポートの機能拡張

Excelレポートで、ラージデータモードが最初のスプレッドシートだけでなく、任意のスプレッドシートで機能するようになりました。

詳細については、[ラージデータモードの使用方法](#)を参照してください。

REST APIの改善

アクティビティの取得やプロジェクトタイプの取得など、より多くの操作が公開されるため、対話型REST APIヘルプがより強力になります。

詳細については、[対話型REST APIヘルプ](#)を参照してください。

ヘルプセンターの機能拡張

- [ヘルプ]メニューは、外部インターネットにアクセスできる場合はPPMオンラインヘルプを開き、アクセスできない場合はオフラインヘルプを開きます。
- コンテキスト依存ヘルプは、多くのPPMWebページに実装されています。[ヘルプ]メニューをクリックすると、ヘルプセンターのホームページではなく、現在のWebページに関連するヘルプトピックが開きます。
- ヘルプセンターには、高度なサイト検索機能が含まれるようになりました。
 - 直感的でフレンドリーなGoogle-like検索
 - すべてのADMヘルプセンターを検索

- 選択した製品で検索結果をフィルタリングする
- PDFやAPIなど、個別の成果物から結果を1か所で取得します。
- プロジェクト管理ユーザーガイドとプログラム管理ユーザーガイドが再構成されました。

プラットフォーム認定

PPM 9.50は、以下のサポートを追加します。

PPMサーバーオペレーティングシステム

- Red Hat Enterprise Linux 7.5 (32ビットと64ビットの両方)
- Oracle Enterprise Linux (OEL) 7.5 (RHEL Clone)
- CentOS 7.5サーバー (64ビット)
- SUSE Linux Enterprise Server 12.3 (32ビットと64ビットの両方)
- IBM AIXバージョン7.2
- Microsoft Windows Server 2012 R2 Hyper-V
- Microsoft Windows Server 2016 Hyper-V

ブラウザー

- Mozilla Firefox 52.7.3 ESR
- Google Chrome 66

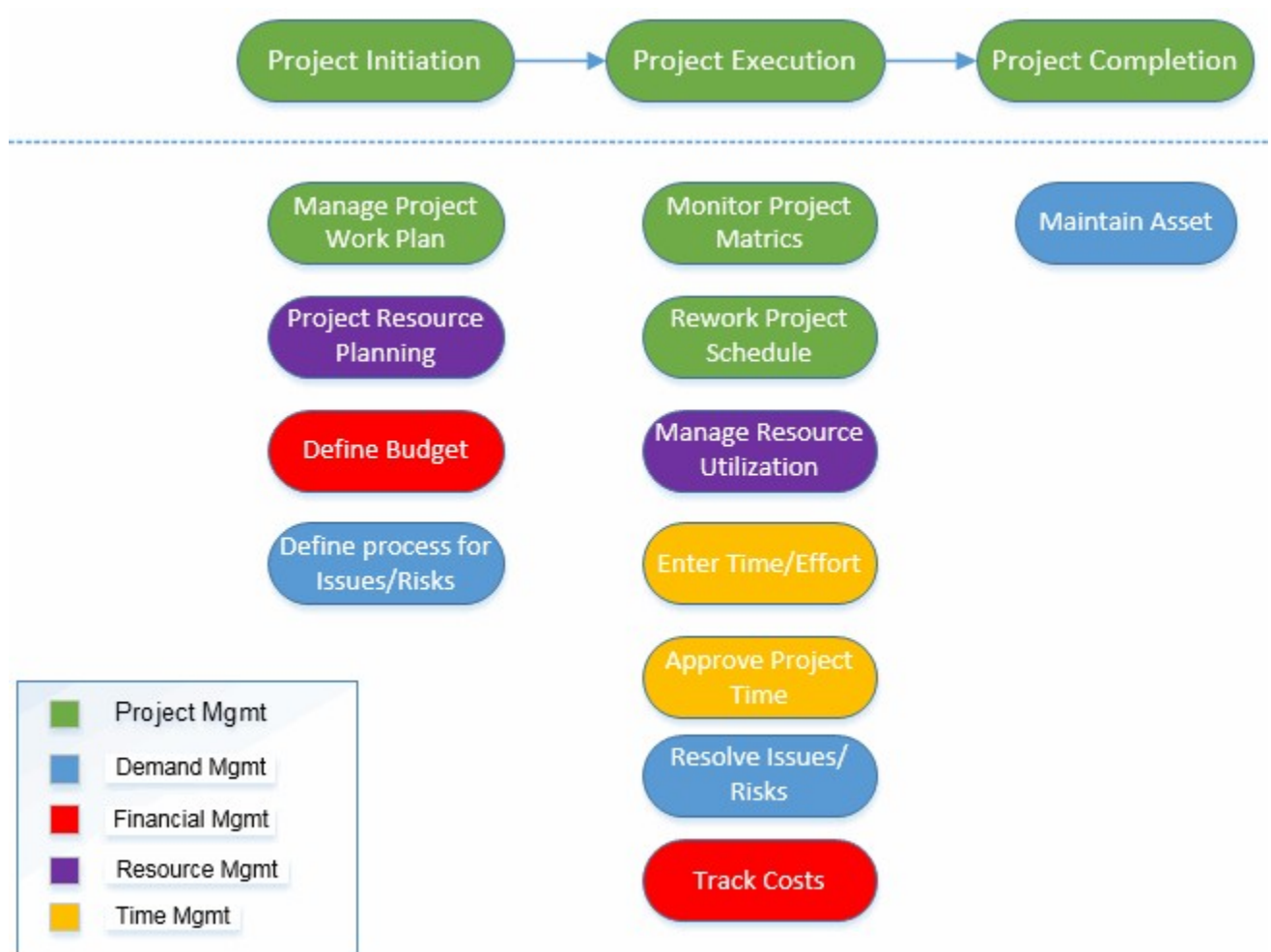
PPMモジュール

PPMは、以下のコアモジュールで構成されています。これらのモジュールは独立して使用されません。

デマンド管理	<p>デマンド管理を使用してさまざまなタイプの要求を送信し、要求が解決または承認されるまでプロセス (ワークフロー) を通過させます。</p> <p>詳細については、はじめに: デマンド管理を参照してください。</p>
ポートフォリオ管理	<p>ポートフォリオ管理は、戦略を定義し、提案、現在のプロジェクト、および確立された資産をビジネス戦略と整合させ、それによって新しいイニシアチブの価値を最大化するのに役立つツールを提供します。</p> <p>詳細については、はじめに: ポートフォリオ管理を参照してください。</p>
財務管理	<p>財務サマリーを使用して、コスト計画を管理し、実際のコストと利益を把握し、承認された予算を追跡します。財務データテーブルを使用して、あらゆるタイプの要求の予測および実際のコストと利益を追跡します。</p> <p>詳細については、はじめに: 財務管理を参照してください。</p>
リソース管理	<p>リソース管理は、ITイニシアチブに関連する人員を管理するための一連のツールを提供します。リソースのロールとスキルを設定し、将来のリソース容量を計画および追跡し、現在のプロジェクトとリクエストの実行にリソースをアサインできます。</p> <p>詳細については、はじめに: リソース管理を参照してください。</p>
プロジェクト管理	<p>プロジェクト管理を使用すると、プロジェクトを開始、実行、追跡して、プロジェクトがスケジュールと予算内で完了していることを確認できます。</p> <p>詳細については、はじめに: プロジェクト管理を参照してください。</p>
プログラム管理	<p>1つのプロジェクトでビジネスゴールを達成できない場合は、プログラム管理を使用して、関連するプロジェクト、提案、および資産をグループ化し、それらをまとめて監視します。</p> <p>詳細については、はじめに: プログラム管理を参照してください。</p>
時間管理	<p>作業項目 (要求、プロジェクト、タスク、パッケージ、またはその他のその他の作業) で作業しているときは、時間管理タイムシートを使用して、特定の作業項目で作業している時間を報告します。</p> <p>詳細については、はじめに: 時間管理を参照してください。</p>

ユースケースの例

プロジェクト管理モジュールを使用してプロジェクトを管理する場合、デマンド管理を使用してプロジェクトで発生する問題やリスクを追跡したり、財務管理を使用して予算を定義したり、コスト/利益を追跡したりすることもできます。以下は、これらのモジュールがどのように連携してプロジェクトを完了するかの例です。



PPMサポートマトリックス

システム要件と互換性マトリックスガイドには、サポートされているオペレーティングシステム、ブラウザ、テクノロジー、およびその他のサードパーティ製品に関する詳細が記載されています。

ここからサポートマトリックスガイドの最新バージョンにアクセスします。

- [PPM 10.0サポートマトリックス](#)
- [統合ソリューションの互換性マトリックス](#)

ハードウェア要件については、[サイズに関する推奨事項](#)を参照してください。

注記: Micro Focus PPMのお客様は、ますます多様化する環境 (オンプレミス、クラウドなど) でPPMを実行します。システム要件と互換性マトリックスは、最新の情報で継続的に更新されます。ただし、企業プラットフォームとクラウドサービスは急速に変化しているため、利用可能なすべてのプラットフォームを正式に認定することはできません。このため、PPMを実行するプラットフォームの特定のバージョンがこの互換性マトリックスにリストされていない場合は、[PPMディスカッションフォーラム](#)でサポートできるかどうかを問い合わせることができます。

PPM統合






PPMは、他のMicro Focus製品およびサードパーティ製品との統合ソリューションを提供します。

製品	統合
アジャイルツール <ul style="list-style-type: none"> ● Agile Manager ● ALM Octane ● Atlassian JIRA ● CA Rally ● VersionOne ● Notion ● Smartsheet 	<ul style="list-style-type: none"> ● Agile Managerとの統合 ● ALM Octaneとの統合 ● Atlassian JIRAとの統合 ● CA Rallyとの統合 ● VersionOneとの統合 ● NotionからPPM作業計画へのタスクのインポート (ベータ版) ● SmartsheetからPPM作業計画へのタスクのインポート (ベータ版)
品質センター / アプリケーションライフサイクル管理	<ul style="list-style-type: none"> ● PPMリクエストとQC/ALMの不具合または要件との統合 ● PPMプロジェクトとALMリリースとの統合 ● PPMタスクとALMリリースとの統合
Microsoft Project	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクト管理とMicrosoft Projectとの統合

Service Manager	<ul style="list-style-type: none">● PPMリクエストとService Managerの変更点との統合● PPMタスクとServiceManager RFCとの統合
Universal CMDB	<ul style="list-style-type: none">● PPMとUniversal CMDBとの統合● PPMとUniversal CMDB for Service Portfolioとの統合● APMとUniversal CMDBとの統合
Release Control	<ul style="list-style-type: none">● PPMとRelease Controlとの統合

その他のヘルプ

さらにヘルプが必要ですか? **Micro Focus**製品を最大限に活用するための方法をいくつか紹介します。

 サポート	<p>製品のサポートが必要ですか?</p> <p>サポートを受ける、サポートを受ける、チケットを送信するをそれぞれクリックして、サポートインシデントを開いたり、バグを送信したりできます。また、多くの役立つサポートリソースを参照することもできます。</p>
 アイデアの交換	<p>機能の提案や機能拡張のリクエストがありますか?</p> <p>PPMアイデアの交換を使用すると、アイデアを送信したり、送信に投票したり、同僚、パートナー、製品チームと共同作業したりできます。</p>
 コミュニティ	<p>製品関連の質問に対するヒントと回答をお探しですか?</p> <p>製品のディスカッションフォーラムに参加して、PPMコミュニティの膨大なナレッジプールを活用してください。多くの異なる重点分野をカバーするブログもあります。</p>
 トレーニングと教育	<p>トレーニングコースに興味がありますか?</p> <p>教育サービスで利用可能なMicro Focusトレーニングおよび教育オプションを表示および検索します。</p>
 Docフィードバック	<p>ヘルプピックに関する支援が必要ですか?</p> <p>ヘルプセンターのエクスペリエンスを改善する方法を教えてください。特定のトピックに関するフィードバックを送信するか、ヘルプセンターのフッターにあるヘルプセンターのフィードバックを送信をクリックして質問してください。</p>

フィードバックを送る



「はじめに」ガイドであなたのエクスペリエンスを改善する方法を教えてください。電子メールを以下に送ってください: docteam@microfocus.com